

河口慧海師将来  
東洋文庫所蔵 写本チベット大藏經調査備忘

斎藤光純

目 次

1. 序	2
2. 写本大藏經の概要	7
a 帚 数	7
b 所収典籍数	7
c 各帙の概要	8
d 散佚部分	9
e 重複部分	10
f 各部の配列	11
g 所収典籍の配列と各版との対応	12
3. 所収典籍における問題点	19
a 用語	
(i) 「錫杖」の語について	19
(ii) 前接字の相違	20
(iii) 語形の新古	21
b 内容	
(i) 題号	22
(ii)跋文	23
(iii) 章・巻	24
(iv) 内容における相違	25
(v) 合撰典籍	25
(vi) ナルタン版 円 <sup>タム</sup> 廿 <sup>ニ</sup> 帙との関係	31
(vii) 用語用字の問題	32
4. 結び	33
5. 写本チベット大藏經略目録	34

## 1. 序

1913年（大正2年）12月20日第二回チベット旅行に出発した河口慧海師は翌1914年9月29日ノルプリンカ離宮で法王ダライラマに拝謁し、古本チベット大蔵經の下賜を願い出た。法王は大臣に命じて諸大寺の古本大蔵經を調査の上、ギャンツェの大蔵經を下賜されることとなった。

1915年1月3日河口慧海師は再び法王に謁して蔵經下附の謝辞を述べ、同月19日ラサを離れ、28日ギャンツェの  
寺<sup>(1)</sup>に於て大蔵經111帙を受領、9月帰国した<sup>(2)</sup>。

この古本大蔵經が、現在東洋文庫に収蔵されている写本チベット大蔵經カンジューである。昭和33年壬生台舜教授にすすめられて、わたくしはその調査を試みた。幸いに東洋文庫に先人の調査されたカードが残っていたので、それを基にして欠落を補い写誤を正し短時日で一応の調査を終えて、昭和35年10月14日大谷大学で開かれた日本チベット学会第八回研究発表会に於いて報告した。以下はその際の原稿に多少の手を入れたものである。報告以後15年以上を経、その間チベット大蔵經研究にも幾多のすぐれた新しい研究が発表された。それにもかかわらず、わたくしの怠惰の故に殆んど旧のまま活字にすることを先づもって読者におわびしなければならない。

さて、この写本チベット大蔵經にはナルタン古版以前のもの或いはナルタン古版の基になつたものとの伝承があつて、従来この伝承がそのまま伝えられていた<sup>(3)</sup>。しかし、この点に最後に気がついたのであるが、その各帙の初葉の表（1a）には供養文（或は發願文）があつて、そこに成立に関する重要な記述が含まれていた。この供養文は下記のA・B・Cの三種類であつて、B類は  
部の  
帙と  
部の  
帙の2帙に、C類は  
部の  
帙のみに、その他のすべての帙にA類の文が存在する。

## A類 阿彌部𠙴帙 供養文

അ। മാം ശ്രീ! ശ്രീ ധർമ്മാദി ചന്ദ്ര ശംകര ശ്രീ ദഹി ശംകര! ഏ ശ്രീ പ്രഭു!  
 വിജയദി വിജയദി തൃപ്തി! ദധാ ശ്രീ അട്ടദി വിജയദി ശ്രീ ധർമ്മാദി!  
 ശ്രീ ശംകര വിജയദി വിജയദി ദധാ ശ്രീ അട്ടദി വിജയദി ശ്രീ ധർമ്മാദി!  
 അട്ടദി വിജയദി ശ്രീ ധർമ്മാദി! ശ്രീ പ്രഭു! ദധാ ശ്രീ അട്ടദി വിജയദി!  
 ശ്രീ ശംകര വിജയദി! ദധാ ശ്രീ അട്ടദി വിജയദി! ഏ ശ്രീ പ്രഭു!  
 ഏ ശ്രീ അട്ടദി വിജയദി! ഏ ശ്രീ അട്ടദി വിജയദി! ഏ ശ്രീ അട്ടദി!  
 ഏ ശ്രീ അട്ടദി! ഏ ശ്രീ അട്ടദി! ഏ ശ്രീ അട്ടദി! ഏ ശ്രീ അട്ടദി!  
 ഏ ശ്രീ അട്ടദി! ഏ ശ്രീ അട്ടദി! ഏ ശ്രീ അട്ടദി! ഏ ശ്രീ അട്ടദി!

(1) അം ശ്രീ! (2) മാം ശ്രീ! (3) വിജയദി വിജയദി  
 (4) അട്ടദി വിജയദി (5) അട്ടദി വിജയദി (6) അട്ടദി വിജയദി  
 (7) അട്ടദി വിജയദി (8) അട്ടദി വിജയദി (9) അട്ടദി വിജയദി  
 (10) അട്ടദി വിജയദി (11) അട്ടദി വിജയദി (12) അട്ടദി വിജയദി

(a. ഒന്നാം അം ശ്രീ, b. അം അം അം അം അം അം)

三

- (1) a · b അം അം (2) a അം അം (3) a · b അം അം  
 (4) a · b അം അം (5) a അം അം (6) a · b അം അം (7) a അം അം (8) a · b അം അം  
 (9) a · b അം അം (10) a · b അം അം (11) a · b അം അം (但 ശിഖ അം അം അം അം അം അം അം അം)  
 (12) b അം



# C類 509. 帷掛部帳 供養文

珍。 | 聖。 智。 | 錄。 壓。 | 錄。 素。 | 錄。 延。 | 錄。 普。 | 錄。 延。 | 錄。 素。 | 錄。 延。 | 錄。 普。  
 該。 智。 延。 普。 錄。 素。 |  
 1  
 該。 智。 延。 普。 錄。 素。 |  
 2  
 該。 智。 延。 普。 錄。 素。 |  
 3  
 該。 智。 延。 普。 錄。 素。 |  
 4  
 該。 智。 延。 普。 錄。 素。 |  
 5  
 該。 智。 延。 普。 錄。 素。 |  
 6  
 該。 智。 延。 普。 錄。 素。 | 該。 智。 延。 普。 錄。 素。 |

比較的読みやすいA類の文によれば、『第十二世ダライのティンレー・ギャムツォー（チング・ラ・ムツク・タシ・タス・スル・サカ）』の弟子なる「デ・モ（ド・モ）」尊師が発願し、「タムデン・ツェワン・プンツォー（タム・スル・タム・タス・スル・サカ）」が主管者となり、瑠璃の光沢を有する紙に「レーカ・スールヤ・ヴァジュラ（チ・ラ・タス・ラ・タス）」が書写し、「ラトナ・ダルマ（ラ・タス・ダルマ）」と「ラトナ・ダルマ・バーラ（ラ・タス・ダルマ・バーラ）」とが校訂したもので、『チャク・チャ（チ・ラ・タス・ラ）』の年に着手した』ことが読みとれる。

B類とC類とは難解で、充分に読み切れないが、B類には『『デモ（ド・モ）』尊師の勧めにより「カシ・タンカン家（チ・ラ・タス・スル・サ・ラ・タス）」の当主である「デチャン・ケンラブ・ナムゲル（チ・ラ・タス・スル・サ・ラ・タス・タス）」が発願し、「ナム・チュン（チ・ラ・タス）」の年から「トゥ・マン（チ・ラ・タス）」の年に至って成満した』こと、さらにC類には、第八世ダライの「ジャンペル・ギャムツォー（チ・ラ・タス・スル・サカ）」の遺弟で、「パンゴル・チヨエデー寺の座主（チ・ラ・タス・スル・サ）」でもあり、「デ・モ活仏（ド・モ・ラ・ボ・サ・ラ）」でもある「ロサン・トゥブテン・ジクメ・ギャムツォー（チ・ラ・タス・スル・サ・ラ・タス・タス）」の名と、「サ・タ（チ・ラ）」の紀年と、校訂者（チ・ラ・タス）「ソエナム・ケードゥブ（チ・ラ・タス・スル・サ・ラ・タス）」と「比丘ラトナ・マイトレーヤ（チ・ラ・タス・ラ・タス）」との名を見出す。

ところで、第十二世ダライは 1856~1875 A. D. の在位であるから、A類の文に現れる「チ・ラ・タス・ラ」の年はこの間を中心に求めなければならない。1856~1875 A. D. の間のチ・ラ・タス・ラの年は 1861 年だけである。従ってA類の供養文を記した帙は 1861 A. D. に着手された写本大蔵經であると思われる。また、B類の供養文の中の「チ・ラ・タス」の年は 1868 A. D. に「チ・ラ・タス・ラ」の年は 1878 A. D. に措定され、C類の供養文の中に現れる「チ・ラ」の年は 1858 A. D. と推定される<sup>(3)</sup>。しかるに、ナルタン古版大蔵經の成立は14世紀前半とされるから<sup>(4)</sup>、ナルタン古版より古い蔵經であるとする従来の伝承は完全に覆えされ、書写年代は遙

かに降って北京版（康熙版，1700A.D.）・デルゲ版（1733A.D.）<sup>(5)</sup>・ナルタン版（1732A.D.）の何れよりも新らしいことになる。

それでは、従来の伝承は事実無根の謬説に過ぎないのであろうか。わたくしには、聖典を求めて遙々ヒマラヤを越えチベットにまで赴いて行った河口慧海師が事実を曲げて自己の将来品の価値を宣伝するようには思えない。そこで以下この点に留意して藏經の調査結果を見てみたい。

（以下写本大藏經をM.、北京（康熙）版をP.、デルゲ版をD.、ナルタン版をN.、チヨーネ版をC.、ラサ版<sup>(6)</sup>をL.と略記する。また必要に応じて燉煌文献（=Tun）を引用する。）

## 2. 写本大藏經の概要

**a. 帚数** 現在M. の帙数は現状で114帙である。ただし、セヌ・チイク の セヌ・チイ 部は一枚中に 7 廿と 14 廿とを合せているので、これを別と見做すと115帙となる。また、ヌン・タ 部の 7 廿と 9 廿、セヌ・チイク・ヌン 部の 5 廿と 5 廿はそれぞれ ヌニ と ヌシ の二帙に分かれている。しかし、この ヌニ と ヌシ の二帙は丁数を通し番号で記入し、かつ、ヌシ 廿は他の帙のように最初の二葉に紺紙金泥を用いていない。従ってこれらの ヌニ 廿と ヌシ 廿を合せて一帙と見れば4帙減じて110帙となり、これに上記の セヌ・チイク・セヌ・チイ 部を2帙と見れば111帙となる。

このように帙数は三種に数えられるが、河口慧海伝<sup>(2)</sup>には111帙を受領したことになっているので、正しくは111帙と見るべきであろうが、図書整理の上では現状の114帙を採るべきであろう。（5-A参照）

七

**b. 所収典籍数** M. に収載される典籍は細分すれば815部である。しかし、内容から見て、ヌニ・ヌシ・ヌヌ 部の48部を一經中の各分品と見、ヌニ 部の中の ヌニ または ヌニ・ヌヌ・ヌヌ を合して一經と見て、それぞれ一經とするならば、761部となる。因みに東北

目録は前者の、大谷目録は後者の数え方を採っているようである。後出の対照表では後者の761部を用いた<sup>(7)</sup>。

帙数と所収典籍数を各部門別に表示すれば次の如くである。

	(部 門)	(帙 数)	(典籍数)
I.	タブ・タ	16	8
II.	セツ・ツリ	28	23
1.	タブ	18	1
2.	ツリ	4	1
3.	ツリ・タブ	3	1
4.	ツリ・ツリ・タブ	1	18
5.	セツ・ツリ	1	1
6.	タブ・タブ	1	1
III.	タブ・タ	6	1
IV.	タブ・タブ・タ	6	1
V.	タブ	37	293
VI.	タブ・タブ	3	1
VII.	タブ	18	434
	計	114帙	761部

## 八

c. 各帙の概要 M. の 1 廿は普通 300 枚台の葉数を有している。このほか、500 枚台が 1 廿、400 枚台が 10 廿、200 枚台が 6 廿ある。500 枚台のものが 1 廿の葉数の最大のもので、これは タブ 部 タ 廿で第 1—第 510 の丁数が記されている。最少のものは セツ・ツリ 部 ツリ・タブ 廿で、第 1—第 244 の丁数が記される。ただし、一つの帙が タブ と タブ とに分かれ

る場合には更に少ないこともある。例えば、**ऐ. ଶ୍ରୀନାଥ** 部の ५ 帚は **ଶିଖ** の帙に第 1—第 118, **ଶିଖ** の帙に第 119—第 350 の丁数が記されている。(後掲略目録 5—A 参照)

ところが、丁数の記入に際して、甚だしい場合には一枚に五つもの(丁付)番号を記入している例もあり、一枚に二つの(丁付)番号を附してある例や、逆に一つの(丁付)番号に **ଶିଖ** と **ଶିଖ** を付けて二枚に分けている例はしばしば見受けられた。(後掲略目録 5—B Nos. 127, 128, 212, 213, 233, 234 等参照) それ故、各々の帙の最終葉の丁付番号は必ずしも正確にその帙の葉数と一致しない。上記の葉数は各帙の最終葉の丁付番号によったものである。

各帙を通じて用紙の大きさの最大のものは横  $25\frac{1}{2}$  インチ (64.77 cm)・縦 9 インチ (28.86 cm) で、最小のものは横  $22\frac{1}{2}$  インチ (58.02 cm)・縦  $7\frac{1}{2}$  インチ (19.05 cm) であったが、一般には横 23 インチ (58.42 cm)～24 インチ (60.96 cm)・縦  $8\frac{1}{2}$  インチ (21.59 cm)～19.05 cm の大きさであった。そして各帙共に初めの二枚は紺紙金泥、第三葉以下は普通のチベット紙を使用して墨書している。(5—A 参照)

各帙の行数は、1b が 3 行、2a が 4 行、2b が 5 行、3a が 6 行、3b が 7 行、4a が 8 行で、以下は通常 8 行である。しかし、これも時に 8 行以下の例もあり、11 行に及ぶ例もあった。

#### d. 散佚部分 現在の M. には散佚した部分がある、その主なものは次の三箇所である。

① **ଶିଖ** 部 **ପା** 帚は初めの二葉つまり紺紙金泥の部分のみが原本で、第 3 葉以下は河口慧海師が大正 14 年に補なったものである。すなわち、この最末尾葉の 369b<sub>4~6</sub> に記された奥書に

(369b<sub>4~6</sub>) 「以上ナルタン版 **ଶିଖ** の **ପା** 第三十丁の裏第二段の **ଶିଖ**」

より写して第四百三十丁の表第三段に了れり。以上大正十四年七月より拾壹月中旬に至るまで西藏国カム洲デルゲのカルマ派の僧チエワン・リンチエン…… **ମଧ୍ୟାଶ୍ଵିନ୍ଦ୍ରାପା**  
**କୁଣ୍ଡଳୀଶ୍ଵରାପା** 写せしものを同十一月廿日より十二月十一日に至るま

で同人と共に校正し了はんぬ。菩提樹軒慧海手記」

とあって、その由来が判明する。それと共に、一人が約5ヶ月間で1帙を書写できること、

校正の期間を含めても約6ヶ月で1帙を完成することが知られる。

② **唵・禪・呪・々・呪** 部 **四** 帖は、①と同じく、初めの紺紙金泥の二葉まで、第3葉以下を欠く。そして、現在その帙に存在している fols. 3~338 は同じく **唵・禪・呪** 部 **四** 帖の fols. 3~338 と同一である。つまり、**唵・禪・呪** 部 **四** 帖の fols. 3~338 は重複して二部存在することになる。

③ **五・三・四・五** 部 **四** 帖は 294 b<sub>8</sub> で終っている。**五** と **三** とに分けられた帙の **五** 帖は別として（**五** 帖は b 面の終りまで全部書写されているが）、他の帙はすべて最終葉の表（a 面）の適当な所で終っているのが常である。しかも、他版と比較して見ると、この **四** 帖の終りと **三** 帖の初めに収載されている経典の間に他版では更に 1 経が存在している。従って、現在ではこの **四** 帖は 294 b<sub>8</sub> が「**唵・禪・呪・五・三・四・五**」なる経典の Col. の最後となり、そこで終っているが、以前にはさらに幾分かの丁数が存在したものである。

因みに、この散佚部分は「**唵・禪・呪・五・三・四・五**」（東北目録 No. 49、大谷目録 No. 706—6）であると推測せられ、しかも、昭和 6 年 12 月刊の「梵藏和英合璧淨土三部經」中の「藏和對訳無量壽經」において、M. のこの部分が校合に使用されている。

#### 一 e. 重複部分 散佚部分の存在と逆に、重複している箇所も存在する。

① **五・三・四** 部 **四** 帖 (fol. 1—331) の第 3 葉から第 331 葉までは二部存する。この二部を比較すると、各葉の首尾の数語の出入はあるにしても、ほぼ同一葉に同一の文が記入されている。このことは以下の重複したものについても同様である。

② **唵・禪・呪・々・呪** 部 **四** 帖第 3 葉から第 338 葉は二部存する。（2—d—②参照）

- ③ 現・部 現・帙(fols. 1~355)の中第33葉から第58葉までは二部存する。これは法華經中の  
の「妙法蓮華經」、妙法蓮華經の直前から 妙法蓮華經 の中途で 妙法蓮華經  
の終り直後までの部分である。
- ④ 妙法蓮華經 部 現・帙の第380葉は同文のものが二枚存在する。
- ⑤ 現・部 現・帙の最終葉(第363葉)は 妙法蓮華經 部 現・帙の第109葉で裏打ちし  
てある。もちろん、妙法蓮華經 部の該当する処には同一の文を記した一枚が存在して  
いる。妙法蓮華經 部のものは書き損じとは思えないほど綺麗なものである。  
なお附け加えるならば、①と②は紺紙金泥の部分の除くすべてであるので見分け難いが、②  
③④については、一方は用紙の大きさ・色合い・厚さ及び筆跡等から見て、その帙の前後に続  
くものであり、他方はそれらが違っていて他からの混入としか考えられない。

f. 各部の配列 さきに各部の現在の配列順序を示したが(2-b参照)，これを他の各版  
と比較すると次の表の如くである。(数字はそれぞれの版の各部の配列順序を示す。)

M.	N.	L.	D.	P.	C.
( <u>妙法蓮華經</u> ) I.	I.	I.	I.	VII.	VII.
( <u>般若經</u> ) II.	II.	II.	II.	II.	V.(VI)
( <u>心經</u> ) III.	III.	IV.	III.	IV.	II.
( <u>大般若經</u> ) IV.	IV.	III.	IV.	III.	IV.
( <u>現</u> ) V. (P)	V. (P)	V.	V. (VI)	V. (VI)	III.
( <u>現</u> ) VI.	VI.	VI.	*	*	*
( <u>現</u> ) VII.	VII.	VII.	VII.	I.	I.

また、般若經 部はさらに細分されているのでその配列順序を比較すれば次表の如くで  
ある。

	M.	N.	L.	D.	P.	C.
( ॒ ॒ ॑ ) 1.	1	1	1	1	1	1
( ॒ ॒ ॑ ) 2.	2	2	2	2	2	2
( ॒ ॒ ॑ ॒ ॑ ) 3.	3	6	3	3	6	6
( ॒ ॒ ॑ ॒ ॑ ॒ ॑ ) 4.	5	3	5	5	4	
( ॒ ॒ ॑ ॒ ॑ ॒ ॑ ) 5.	6	5	6	6	3	
( ॒ ॒ ॑ ॒ ॑ ॒ ॑ ) 6.	4	4(P)	4(P)	4(P)	5(P)	

[(P) は Paritta 集を含むことを示す。]

初めの表に見るように、M. の各部の配列は N. D. と同一であるが、L. (6) P. C. とは異なっている。ただし、D. の ॒ ॒ 部を M. と N. とは ॒ ॒ 部と ॒ ॒ ॒ ॑ 部とに二分している。さらに ॒ ॒ ॑ 部の表では、M. は他の何れの版とも異なる配列を有している。

ところで、上の表は M. を現在の東洋文庫に配架されている順序で見たのであるが、M. 以外の各版がそれぞれに附属目録 ( ॒ ॒ ॑ ॒ ॑ ) を有してその正しい配列が明瞭であるのに対して、M. は附属目録を欠いており、上記の順序が正しいものか否かを決定することに不安が残る。しかし、各部の中の帙の順序は丁付によって正しいことが知られるので、各部の中に収録される経典の配列順序を比較することがむしろ重要であろう。

g. 所収典籍の配列と各版との対応 上述の理由で所収典籍の比較をしてみると（末尾掲載 (5-B) 対照表参照）、M. は ॒ ॒ ॑ ॒ ॑ ॒ ॑ 部に於いて N. と同じ配列であるが、他の D. P. C. とは異なり、 ॒ ॒ 部に於いて D. と比較的同一の配列を有しているが、他の N. P. C. とは D. ほど一致せず、その他 ॒ ॒ ॑ ॒ ॑ 部・ ॒ ॒ 部に於ては N. D. P. C. の何れとも異なり、特に ॒ ॒ 部に甚だしい等の諸点が見られる。

ついでに M. に収められている典籍の中の特徴あるものを挙げて見る。

(i) M. に収められていて、N. D. P. C. に対応するものの見られない経典は 19 部ある。

① No. 38.

अर्या-

28b<sub>4</sub>—132a<sub>2</sub>

अर्यादाशभूमिकानामामहायानसूत्र।

Ārya-daśabhūmika-nāma-mahāyānasūtra.

(Col. 欠。7卷(एषाच्च)に分けるが、章を分けず。漢訳「十地經」に相当。)

② No. 131.

अर्या-

224a<sub>6</sub>—363b<sub>6</sub>

अर्यात्मसंहित्युक्त्यपरिदीप्ते अद्विष्ट्वित्तुमहासंक्षेपसूत्रामहायानसूत्र।

Buddha-anusmṛtisamādhisa mudra-nāma-mahāyānasūtra.

(7卷7章に分けるが、第7章は中途で終っているようである。Col.・末題欠。)

③ No. 149.

अर्या-

249b<sub>4</sub>—251a<sub>6</sub>

द्विःसूत्र।

Deva-sūtra.

(D.329, P.995, N.314と同名。しかし、前半ややそれと類似するも、後半特に最後は一致しない。異本と云うべきものであろう。Col.・末題欠。)

④ No. 173.

अर्या-

354b<sub>1</sub>—356a<sub>4</sub>

सूर्यःसूत्र।

Bhūmi-sūtra.

Padmakaravarma, Rin-chen bzañ-po 訳。

⑤ No. 242.

अर्या-

338b<sub>8</sub>—339a<sub>7</sub>

द्विष्ट्वित्तुमहायानसूत्रमूर्तिसूत्रमिसंक्षेपसूत्रामहायानसूत्र।

Pañcatathāgatamaṅgala-gāthā.

(D.822, P.445, N.737と前半(=M.339a<sub>4</sub>=D.261b<sub>4</sub>まで)一致するが、以下一致しない。末題は単に एषामिसंक्षेपसूत्रामहायानसूत्र। とある。後半の一致するもの



- ⑩ No. 268. 壓縛・舍 263b<sub>1</sub>—266b<sub>8</sub>

१६३८००८०४०२०८०५०८०७०९०८०।

(梵題・Col. 欠。)

- ⑪ No. 272. 壓縛・舍 328b<sub>1</sub>—340a<sub>8</sub>

१६०८०८०५०८०७०८०। १५०८०८०७०६०८०५०४०१०।

(梵題・末題・Col. 欠。)

- ⑫ No. 276. 壓縛・阿 297a<sub>5</sub>—297b<sub>7</sub>

१५०८०८०५०४०३०१०।

Daśasamjñādeśa-sūtra.

(Col. 欠。) (3—b—iv, 3—b—vi—④ 参照。N. は 内縛 帙に対応するものが

存在するが、一応対応なき例として挙げておく。L. 314に当るか<sup>(6)</sup>。)

- ⑬ No. 312. 壓縛・毘 186a<sub>3</sub>—199b<sub>1</sub>

१५०८०८०५०४०३०१०।

Kośalokiprajñāptikanacakṣba (sic.)

(Col. 欠。)

- ⑭ No. 318. 壓縛・毘 348b<sub>4</sub>—353a<sub>6</sub>

१५०८०८०५०४०३०१०।

(梵題及び Col. 欠。)

- ⑮ No. 322. 壓縛・毘 362a<sub>6</sub>—363a<sub>8</sub>

१५०८०८०५०४०३०१०।

(梵題及び Col. 欠。)

- ⑯ No. 323. 壓縛・毘 363b<sub>1</sub>—364a<sub>4</sub>

१५०८०८०५०४०३०१०।

Svastiyana-gāthā.

(D. 817(=1101), と 818(=1102) に同名のものがあるが、それ等と一致しない。なお Col. には訳者は Jinamitra, Surendrabodhi, Ye-ses sde としてある。)

- ⑯ No. 326. 般若波羅密多心經 368b<sub>8</sub>—369a<sub>8</sub>

般若波羅密多心經

Ratnatrayavasti-gāthā.

(Col. 欠。D. 824と827(=1108)に同名のものがあるが、それ等と一致しない。)

- ⑰ No. 670. 般若波羅密多心經 81a<sub>4</sub>—84a<sub>2</sub>

般若波羅密多心經

(梵題・Col. 欠。)

- ⑱ No. 676. 般若波羅密多心經 114b<sub>5</sub>—115b<sub>2</sub>

般若波羅密多心經

Bhaṭṭatārā-aṣṭāsataka-nāma.

(Col.) 般若波羅密多心經

般若波羅密多心經

(ii) M. にあって、他の何れかの版にないものは以下のものである。

- ① M. 143 N. 785 (D. P. 欠)

- M. 284 N. 783 (D. P. 欠)

- M. 625 P. 359 (D. N. 欠)

- ② M. 195 D. 199 (P. N. 欠)

- M. 372 D. 412 (P. N. 欠)

- M. 430 D. 475 (P. N. 欠)

- M. 440 D. 484 (C. 119) (P. N. 欠)

M. 634	D. 683	(P. N. 欠)
M. 637	D. 689	(P. N. 欠)
M. 640	D. 690, N. 619	(P. 欠)
M. 716	D. 767, N. 667	(P. 欠)
③ M. 316	D. 1095	P. 716 (普賢行願讚。N. の) (み Tanjar 中に在る。)
M. 317	D. 1096	P. 717 (N. 欠)
M. 319	D. 1097	P. 718 (N. 欠)
(以上の 3 部は M. は 𠂌・部に、D. P. は 𠂌・部に属する。)		
M. 343~373	D. 383~413 (但し 408 を欠く。その位置に) (399 と同一のものが入る。)	P. 28~57 (末尾不順) (N. 欠)
M. 375	D. 415	P. 59 (N. 欠)
M. 396	D. 436	P. 75 (N. 欠)
M. 401	D. 441	P. 80 (N. 欠)
M. 416	D. 463	P. 98 (N. 欠)
M. 417	D. 464	P. 99 (N. 欠)
M. 418	D. 465	P. 101 (N. 欠)
M. 456	D. 501	P. 133 (N. 欠)
M. 519	D. 565	P. 183 (N. 欠)
M. 520	D. 566	P. 184 (N. 欠)
M. 526	D. 572	P. 383 (N. 欠)
M. 550	D. 592	P. 204 (N. 欠)
M. 597	D. 645	P. 354 (N. 欠)
M. 604	D. 653	P. 332 (N. 欠)
M. 626	D. 673A	P. 360 (N. 欠)

M. 636	D. 688	P. 527	(N. 欠)
M. 639	D. 694	P. 374	(N. 欠)
M. 649	D. 697	P. 378	(N. 欠)
M. 665	D. 719	P. 233	(N. 欠)
M. 671	D. 723	P. 380	(N. 欠)
M. 687	D. 742	P. 270	(N. 欠)
M. 702	D. 753	P. 409	(N. 欠)
M. 705	D. 756	P. 420	(N. 欠)
M. 752	D. 804	P. 358	(N. 欠)
M. 758	D. 809	P. 432	(N. 欠)

(iii) さらに、他の版では論疏部中に含まれるものが M. に収載されている。すなわち以下である。

M. 44	D. 1161	N. T. 50
M. 269	D. 4199	N. T. 3688
M. 271(1) } M. 271(2)	D. 4321	{ N. T. 3807 N. T. 3808
M. 283	D. 4088	N. T. 3580
M. 307	D. 4144	N. T. 3636
M. 308	D. 4145	N. T. 3637
M. 309	D. 4196	N. T. 3686
M. 310	D. 4086	N. T. 3578
M. 313	D. 4087	N. T. 3579
M. 314	D. 4201	N. T. 3689

M. 315

D. 4202, P. 1041

N. T. 4380

以上の中、阿毘達摩部の3部(M. Nos. 283, 310, 313)以外は東北目録では作者を記していない。また、以上は何れも「スル」部に収載されている。「スル」部の乱雑なことは、これによっても明らかである。

### 3. 所収典籍における問題点

M. の構成については上に概観したが、次に、その一々の所収典籍の中で目に触れた点を挙げてみたい。

#### a. 用語

(i) 「錫杖」の語について M. 174に「スル・シニヤ・クム・スル・スル・スル・スル」(錫杖を執持し行する法、〔漢訳〕持錫杖法〔正藏785の内〕)と云う典籍がある。短かい(fols. 356a<sub>4</sub>—357a<sub>7</sub>)ものであるが、その中に「錫杖」の語が首・尾題の2箇所を含んで20箇所使用されている。一般に「錫杖」の語は「スル・シニヤ」と記されるのが普通である。他各版の対応するものは、N. (321)「スル・シニヤ」、No. D. (336)「スル・シニヤ」、P. (1002)「スル・シニヤ」(ただし、大谷目録脚註によれば、『附属目録』「スル・シニヤ」は「スル・シニヤ」とある。また同じく脚註に記すように、首題末尾から帰敬偈初めにかけて換行の際の脱文がある。), Tun. (東洋文庫所蔵, India Office Library, Tun-Huang Collection Vol. 24; 西藏文献 Reel 5 (⇒ p. 72a)「スル・シニヤ」である。これらの六者の題は全く同一であるのに、「錫杖」の語だけが相違している。そこで、同法の錫杖の用例20箇所(P.のみ脱文によって19箇所)について調べると次頁の表のようになる。

Tun. のみが特別に古いものであるから、前接字のない形を「錫杖」の語の古型とすれば、M.には4箇所その形が残っており、最も新しい版本のC.にも「シニヤ」と云う古型が残っていることになる。また、N.とD.とは「スル・シニヤ」と一般的な形を用いているが、N.

	শৰ্মস্তু	বৰ্মস্তু	বৰ্মস্তু	মৰ্মস্তু
M.	16			4(356b <sub>7</sub> , 356b <sub>7</sub> ) (356b <sub>8</sub> , 357a <sub>5</sub> )
N.	1(431b <sub>1</sub> )	19		
D.		20		
P.				19
C.			20	
Tun.				20(মৰ্মস্তু)

に1箇所だけM.と同じ「শৰ্মস্তু」の形が存する。このことからM.の「শৰ্মস্তু」が写誤とのみは言い切れない。Tun.以外の各版の間の開版年代は、Tun.と他版との間ほど大きな差はないから、或いはこれらは地域差、方言の差とも考えられる。

(ii) 前接字の相違 ①において見られた前接字の相違は、他の箇所にもしばしば見られる。

① 有名な「বৰ্মস্তু」の「ক্ষমাশুণ্য」(法成)の語についても、一般的にD. P. は「বৰ্মস্তু」を、N. M. は「শৰ্মস্তু」を使うが、N. M. は時に「বৰ্মস্তু」を用いることもある。また、Tun. P. は「ক্ষমাশুণ্য」に一定しているが、M. D. N. は「ক্ষমাশুণ্য」と「ক্ষমাশৰ্মস্তু」と交えて一定していない。さらに、M. (641, 643)・N. (621, 622)・D. (691, 692)・P. (369, 370) は本文の Col. 二〇二には「ক্ষমাশুণ্য」とあるが、D. の目録である東北目録は(付属目録 ৫৩১ 'ক্ষমা' によったものか) D. 691, 692 共に「ক্ষমাশৰ্মস্তু」としている。

② M. 607・N. 590は蔵題中「শৰ্মস্তু」の語を記すが、同じ所をD. 656・P. 333は「শৰ্মস্তু」と表記している。

③ 同様に蔵題中M. (279)・P. (1008)・N. (326) に「বৰ্মস্তু」とする所を、D. (341)は

「শুন্দস」としている。

(iii) 語形の新古 以上見て來たように、各版の間に在る言葉の差は、部分的には（一典

籍ごとに）統一されていることがあっても、その版本全体としては不確定で、これを直ちに版本の新古に結びつけて考えるのは危険である。さらに一例を挙げてこの点を確認してみたい。

① M.9 ( শুন্দ 部 ৩·2a<sub>4</sub>—2b<sub>5</sub> ), D. (Vol. 23 17a<sub>5</sub>—17a<sub>7</sub> ), P. ( শুন্দ 部 ৩·182b<sub>3</sub>—182b<sub>5</sub> )

(M.2a<sub>4</sub>)

শুন্দ এই শুন্দ শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ (2b<sup>1</sup>)  
শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ (2b<sup>2</sup>)  
শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ (3)

(1) D. শুন্দ

(2) D. শুন্দ

(3) D. শুন্দ, P. শুন্দ (M.の শ は誤写)

すなわち、M.=P. であるのに、D. は mi を myi としている。

② M.9 ( শুন্দ 部 ৩·322a<sub>4</sub>—322a<sub>5</sub> ), D. (Vol. 25 395a<sub>5</sub> ), N. ( শুন্দ 部 ৩·484a<sub>3</sub> )

(M.322a<sub>4</sub>)

শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ  
D. শুন্দ N. শুন্দ D. শুন্দ  
শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ  
D. শুন্দ N. শুন্দ D. শুন্দ

এই শুন্দ (322a<sup>5</sup>) এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ  
P. শুন্দ N. শুন্দ D. শুন্দ

এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ এই শুন্দ  
D. শুন্দ D. শুন্দ

শুন্দ এই শুন্দ (以下 Col. 3—b—ii—①参照) ২৫·৩·শুন্দ এই শুন্দ

(1)

第1章

- (1) D. P. N. ४५१ ト ४७८ 編目 (D., P. は以下次。N. は ४४६ 301 以下に続く。  
cf. 大谷目録脚註。)

上の二例において、校訂の厳密を以て知られる D. が「तुं」、「रुद्रं」、「मुहुं」のような古型を示しているにもかかわらず、先に Tun. と同じ古型を見せた M. と P. とは新型に訂正されている。このように、使用語型の古さを直ちに年代の古さに結びつけるのは危険であって、ここでも M. に上記の事実が存在することを示すに止める。

b. 内容

- (i) 題号 内容は同一であるのに、版によって題号等に相違が存在する場合があるので、二三の例を挙げて見る。

① M. 415, N. 422, P. 100 : तुं श्वीं द्युं द्वुं नवं प्रविं शुद्धा  
D. 462 : तुं श्वीं द्युं द्वुं नवं प्रविं शुद्धा

- ② M. 389, N. 394 :

शृणु कर्त्तुम् शृणु कर्त्तुम् शृणु कर्त्तुम्

Mantra-amṣa-tantrarāja-nāma.

(訳者 : Gayadhara, गयाधरा शृणु कर्त्तुम् )

D. 429, P. 68 :

द्युषं नवं प्रविं प्रविं नवं प्रविं तुं शृणु कर्त्तुम् शृणु कर्त्तुम्

Śrī-caturpiṭhakhyāta-tantrarāja mantra-amṣa-nāma.

(訳者 : D. Gayadhara, शृणु प्रविं शृणु ; P. Gāyadhara, गयाधरा शृणु प्रविं शृणु )

- ③ M. 71 :

शृणु कर्त्तुम् शृणु कर्त्तुम् शृणु कर्त्तुम् शृणु कर्त्तुम् शृणु कर्त्तुम्  
प्रविं शृणु कर्त्तुम् शृणु कर्त्तुम्

Ārya-badhisattvākṣitigarbha-cakradaśa-nāma-mahāyānasūtra.

N. 224, D. 239, P. 905 :

॥ र्वृंष्ठि-कैर्य-शम-महिं श्वृंष्ठि-वृंष्ठि-ष्टु-प्रभा-विष्ठि-ष्टु-प्रभा-कैर्य-श्वृंष्ठि-  
श्वृंष्ठि ॥

Daśacakraśitigarbha-nāma-mahāyānasūtra.

④ M. 230, N. 221 : Bhagavanośniśamahā.

D. 236, P. 902 : (梵題 欠)

⑤ M. 690 : Ārya-mahāśriyāḥ-sūtra ; D. 740 : Ārya-mahālakṣmiṇī-sūtra.

N. 647 : Ārya-mahāśrayāḥ-sūtra ; P. 399 : Ārya-mahāśriya-sūtra.

(ii) 跋文 同一典籍でありながら跋文 (Colophon) に相違があって、訳者名などの異なる場合もある。また、その例を二三列挙する。(3—b—i—②もその例である。)

① M. 9 (梵題 部 号 322a<sub>5-8</sub>)

॥ उत्तरार्थाम् यम् दद् । त्वं गृहीं देवं चिदं दक्षसंनिधानद् । त्वं गृहीं देवं चिदं  
शक्तसंनिधीं वृत्ते याश्वर्णसंघापात्रृपान्ना त्रुमाद्याभ्यं वृत्ते वृत्ते वृत्ते  
त्रुमाद्याभ्यं वृत्ते  
त्रुमाद्याभ्यं वृत्ते  
त्रुमाद्याभ्यं वृत्ते  
त्रुमाद्याभ्यं वृत्ते ॥  
१११  
१११

N. 9 (536a<sub>5</sub>)

त्रुमाद्याभ्यं वृत्ते वृत्ते वृत्ते ॥ त्रुमाद्याभ्यं वृत्ते वृत्ते वृत्ते  
वृत्ते वृत्ते वृत्ते वृत्ते ॥

D. 8, P. 730

Col. 欠

② M. 33—39

शुक्लाष्ट्रसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम्

写本  
ベット大蔵經調査備忘

N. 72, D. 84, P. 760—40

Col. 欠 (ただし、大谷目録脚註には「漢訳重翻ならむ」と記す。)

③ M. 455 (=D. 948, P. 132)

श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम्  
श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम्

N. 775

श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम्

④ M. 458, D. 504

श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम्  
श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम्  
श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम्

東北目録 No. 504 (=Dkar-chag ?)

(訳者) Jinamitra, Silendrabodhi, ye-ses sde.

⑤ M. 57, N. 313

Col. 欠

D. 328, P. 994

श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम् श्रीष्टिसंक्षेपम्

二四

(iii) 章・巻 経典の巻 (षष्ठि) <sup>(6)</sup>・章 (षष्ठि) に関しても各版に相違が見られる。

① 々々々部において、巻数はM. P. 共に300巻ある中で、M. 第228巻 (ム・帙1a<sub>1</sub>) はN.

第229巻D. 廿帙第2巻、P. 第229巻に一致するが、M. 第283巻 (ム・帙1a<sub>1</sub>) はN. P. 共

に第283巻と一致する。(D. は対応巻不明。) 即ち、同じ300巻あるうち途中で分巻の箇所に

相違のあることが知られる。また、章に就いては、八四部の末尾はM. が第73章、N. D. P. が共に第72章で終っている。即ちM. が他版より一章多いことになる。

② また、M. 327、P. 787の涅槃經では章数はM. P. 共に15章であるのに、卷数はM. 43卷 P. 56卷となっており、内容は同じでも分卷の箇所が違っている。

(iv) 内容に於ける相違 前述の 2—g—i—12 に挙げた經典は、D.311, N.315, P.977と類似の題号を有している。

M. ९५·শিষ্য·ষত·ষষ্ঠী·যুরি·শর্দ। (説示十想經)

Daśasamjñādeśa-sūtra.

D. P. N. ९५·শিষ্য·ষত·শিষ্য·ষষ্ঠী·যুরি·শর্দ। (説示十一想經)

Ārya-samjñāna-ekādaśanirdeśa-sūtra.

であって、内容を比較してみると、異本とも言えないほど、両者は一致している。しかも一方が「十想」となり、他方が「十一想」となって来るのは次の関係によるものである。

M. 297b<sub>1</sub>

১কথ্যাযুরি·কৃত্যাস্ত্রিমশা·সমশা·তদ·ষষ্ঠশশা·বৈদ·কৃত্যাস্ত্রিমশা·সমশা·তদ·যুদ·দণ·যু·ন্দ·  
যুরি·৯৫·শিষ্য·৯৮।

D. 157b<sub>1</sub>

১কথ্যাযুরি·কৃত্যাস্ত্রিমশা·সমশা·তদ·ষষ্ঠশশা·যুরি·৯৫·শিষ্য·৯৮। কৃত্যাস্ত্রিমশা·সমশা·  
তদ·যুদ·দণ·যু·ন্দ·যুরি·৯৫·শিষ্য·৯৮।

上記のM. で一想となっている箇所をD. では dañ を以って二想に分けているために、十と十一の差が出来たものである。

(v) 合様典籍 M. の中に他版における二經を合様しているものが 4 部存在する。

① M. 81 (শর্দ 部 ৩) 廿379a<sub>8</sub>—380a<sub>8</sub>)

(首題) ৯৪শশা·যুরি·নুদ·বৈদ·৯৪শশা·নুদ·ষষ্ঠী·যুরি·শিষ্য·৯৪শশা·নুদ·ষষ্ঠী·যুরি·শর্দ।

(未題) अर्यास्त्रिविवरत्याकराणानामामहायानसूत्रा।

(梵題) Ārya-strivivartavyākaraṇā-nāma-mahāyānasūtra.

これに対応する他版の經典は、前半部が

D.190, P.857, N.176, M.235

१४३ अथ अर्यास्त्रिविवरत्याकराणानामामहायानसूत्रा ॥

Ārya-strivivartavyākaraṇā-nāma-mahāyānasūtra.

であって、後半部は

D.279, P.945, N.264, M.233

१४४ अथ अर्याबुद्धानुस्मृतिः ॥

Ārya-buddhānusmṛti.

である。その合様の部分をD.と対照すると次の通りである。(実線は前半の、点線は後半の対応部分である。)

M.81 (379b<sub>7</sub>)

प्रश्नाय अश्वाय एवं एष अवद अर्हि प्रद त्रुष मोक्षाद्यार केव्य मेवाठम  
 अद इष्ट दीर्घीद न रुषाय द गु द इष्ट द ॥ दीर्घाय उठम द न रुषात्तुष  
 अर्हि इष्ट (b<sup>4</sup>) श्रु द ग्रे द केव्य इष्ट द इष्ट एव गुषात्ति त्रुष्याय द  
 अर्हि प्रद अवाय द ॥ केव्य द एव गुषाय द ॥ १४३ अर्हि इष्ट द न रुषात्तुष  
 अर्हि (380a<sup>1</sup>) त्रुष्याय द अर्हि श्रु द ग्रे द केव्य अर्हि इष्ट द एव गुषाय  
 अभिप्रया श्रुषाय एवाय ग्रीष्म गुष्माय अभिप्रया अभिप्रया गुष्माय  
 三六 (a<sup>2</sup>) न रुष्माय द ॥

D.190 (201b<sub>4</sub>)

त्रुष्याय द ॥ त्रुष्याय द प्रद अवाय द ॥ केव्य द एव गुषाय द ॥ ग्रीष्म  
 एव गुषाय द ॥ (b<sup>5</sup>) श्रु द एव गुषाय द ॥ ग्रे द एव गुषाय द ॥ श्रु द एव  
 य अवाय द ॥ ग्रीष्म गुष्माय ग्रीष्म गुष्माय ग्रीष्म गुष्माय ग्रीष्म गुष्माय

## अक्षद्वयप्रसारा।

D. 279 (55a<sub>3</sub>)

भेषाद्युम्भियाश्रीष्टाक्षीर्ण्याम् शृणवाऽव्यसायावहिष्ठिद्याम् विष्ठ्यसात्तद्यसाम्  
 तद्युम्भिर्ण्याम् मुद्युत्तम्भिष्ठाद्युम्भिष्ठायाम् उद्युम्भिष्ठायाम्  
 अक्षद्वयप्रसारा॥

参考までに挙げれば、後半部の末尾は次の通りである。

M. 81 (380a<sub>6</sub>)

.....॒द्युम्भिष्ठायाम् भेषायाम् यदि॑॥ (a<sup>7</sup>) द्युम्भिष्ठायाम् यदि॑॥  
 अद्युम्भिष्ठायाम् भेषायाम् यदि॑॥ ॥६१०३४७५७८५८५९॥ (a<sup>8</sup>) यदि॑ये॑भेषायाम्  
 अक्षद्वयप्रसारा॥ उद्युम्भिष्ठायाम् भेषायाम् यदि॑॥ यदि॑ये॑भेषायाम्  
 अक्षद्वयप्रसारा॥

D. 279 (55a<sub>7</sub>)

.....॒द्युम्भिष्ठायाम् भेषायाम् यदि॑ये॑भेषायाम् द्युम्भिष्ठायाम् यदि॑ये॑भेषायाम्  
 ॒उद्युम्भिष्ठायाम् भेषायाम् यदि॑ये॑भेषायाम् ॥

即ち、M. 81とそれに対応する各版との対照は次のようになる。

(M. 81) 379a<sub>8</sub>—379b<sub>8</sub> ..... (379b<sub>8</sub>) 380a<sub>7</sub>(M. 235) 172a<sub>8</sub>—172b<sub>8</sub>—203b<sub>9</sub> || (M. 233) 134(goñ)b<sub>2</sub>—134(goñ)b<sub>7</sub>—134(hog)a<sub>5</sub>(N. 176) 324a<sub>6</sub>—325a<sub>1</sub>—363a<sub>6</sub>(N. 264) 79a<sub>1</sub>—79b<sup>5</sup>—80a<sub>4</sub>(D. 190) 201a<sub>6</sub>—201b<sub>4</sub>—224b<sub>5</sub>(D. 279) 54b<sub>6</sub>—55a<sub>3</sub>—55a<sub>7</sub>(P. 857) 211a<sub>5</sub>—211b<sub>3</sub>—235a<sub>8</sub>(P. 945) 58b<sub>4</sub>—58b<sub>8</sub>—59a<sub>5</sub>② M. 315 (अर्द्धं द्वयप्रसारा 314b<sub>6</sub>—342b<sub>4</sub>)

(未題) त्रुष्ट्याद्युम्भिष्ठायाम् यदि॑ये॑भेषायाम् यदि॑ये॑भेषायाम्

(首題・梵題 次)

これに対応するものは、

N. 4380 (Tanjur : 般若部 2・帙 420b<sub>3</sub>—444a<sub>2</sub>) (=D. 4202, P. 5699)

थिरि·युथ·त्रुद·षश्वर्णा।

C. 1042 (般若部 4・帙 358b<sub>3</sub>—361a<sub>6</sub>) (=P. 1041)

ष्टु·मिद·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा।

首部の対応は次の通りである。

M. 315 (314b<sub>6</sub>)

ओ। थि·युथ·त्रुद·षश्वर्णा थिरि·त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा। त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा।

N. 4380 (420b<sub>3</sub>)

थिरि·युथ·त्रुद·षश्वर्णा। थिरि·युथ·त्रुद·षश्वर्णा। त्रुद·षश्वर्णा।  
त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा। थि·युथ·त्रुद·षश्वर्णा थिरि·त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा।  
त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा।

合様部分の対応は次の通りである。

M. 315 (340b<sub>8</sub>)

ष्टु·त्रुद·षश्वर्णा त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा। त्रुद·षश्वर्णा।  
त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा। (341a<sup>1</sup>) त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा।

P. 5699 (465b<sub>3</sub>), N. 4380 (441a<sub>7</sub>)  
ष्टु·त्रुद·षश्वर्णा त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा। त्रुद·षश्वर्णा।  
त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा। (441b<sup>1</sup>) त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा।

C. 1042 (359b<sub>4</sub>), P. 1041 (301b<sub>6-7</sub>)

द्वि·त्तु·षश्वर्णा त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा। त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा।  
त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा। त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा। (b<sup>5</sup>) त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा।  
त्रुथ·र्त्तुस·त्रुद·षश्वर्णा।

末尾の対応は次の通りである。

M. 315 (342b<sub>4</sub>)

.....తు॒తీ॒॥ తుథ॑మ్మ॒శసిథ॑త్రీ॒థశ॑పర్చ॒మద॑పర్చ॒శ్వర॑థమ॑త్రీ॒మద॑త్రోణశ॑త్రు॥

C. 1042 (361a<sub>6</sub>)

.....తు॒తీ॒॥ తుథ॑మ్మ॒శసిథ॑త్రీ॒థశ॑పస॑మద॑పర్చ॒శ్వర॑థమ॑త్రీ॒మద॑త్రోణశ॑త్రు॥

以上をまとめると次の対照表となる。

(M. 315)	314b <sub>6</sub> —340b <sub>8</sub>	.....	341a <sub>1</sub> —342b <sub>4</sub>
----------	--------------------------------------	-------	--------------------------------------

(N. T. 4380)	420b <sub>3</sub> —420b <sub>3</sub> —441a <sub>7</sub> —444a <sub>2</sub>	.....
--------------	--	-------

(C. 1042)	358b <sub>8</sub> —359b <sub>5</sub> —361a <sub>6</sub>	.....
-----------	---	-------

(P. 5699)	444a <sub>2</sub> —444a <sub>2</sub> —465b <sub>2</sub> —468a <sub>8</sub>	.....
-----------	--	-------

(P. 1041)	301a <sub>6</sub> —301b <sub>7</sub> —303a <sub>1</sub>	.....
-----------	---	-------

③ M. 340 (త్రున్ ః నెం ః ప్రాణః ప్రాణః త్రున్ ః వా)

(首題) త్రున్ ః ప్రాణః ప్రాణః త్రున్ ః వా

(梵題) Vajravārihi-abhidani (sic.)

(末題) త్రున్ ః ప్రాణః ప్రాణః త్రున్ ః ప్రాణః త్రున్ ః వా

N. 382に一致するM. 340の対応はD. P. で次の通りである。

D. 377, P. 22

అశ॑మ్మ॒శ్వర॑థ॒ప్రాణ॑ప్రాణ॒ప్రాణ॑ప్రాణ॒త్రున్ ః వా

అశ॑మ్మ॒శ్వర॑థ॒ప్రాణ॑ప్రాణ॒త్రున్ ః వా

D. 380, P. 25

త్రున్ ః ప్రాణః త్రున్ ః ప్రాణః త్రున్ ః ప్రాణః త్రున్ ః వా

二九

合様箇所は次の通りである。

M. 340 (393a<sub>1</sub>)

<u>అశ॑మ్మ॒శ్వర॑థ॒ప్రాణ॑ప్రాణ॒త్రున్ ః వా</u>	<u>త్రున్ ః ప్రాణః త్రున్ ః వా</u>	<u>త్రున్ ః ప్రాణః త్రున్ ః వా</u>
--	------------------------------------	------------------------------------

D. 377 (59b<sub>2-3</sub>)

.....। । ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା । ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା ॥

ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା ॥

D. 380 (73a<sub>2</sub>)

.....ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା । । ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା ।  
ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା । ।

これを表にすると次のようになるが、ここではN.にM.と一致する經典のある事に注目したい。

M. 340 385b<sub>2</sub>—393a<sub>1</sub> ..... (393a<sub>1</sub>)—393a<sub>9</sub>

N. 382 236b<sub>6</sub>—246a<sub>6</sub> ..... (246a<sub>6</sub>)—246b<sub>7</sub>

D. 377 52b<sub>5</sub>—59b<sub>3</sub> (—60a<sub>7</sub>) || D. 380 72b<sub>7</sub>—) 73a<sub>2</sub>—73a<sub>7</sub>

P. 22 215b<sub>6</sub>—222b<sub>7</sub> (—223b<sub>6</sub>) || P. 25 243a<sub>7</sub>—) 243b<sub>1</sub>—244a<sub>2</sub>

④ M. 242 ( ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା 338b<sub>8</sub>—339a<sub>7</sub>)

ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା ।

(末題) ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା ।

D. 822, P. 445, N. 737

(蔵題同上)

M. 242は後半部の対応を未だ見出せないが、前半部の対応は次の通りである。

M. 242 (339a<sub>3</sub>)

.....। । ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା । ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା ।  
○ ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା । ।

D. 822 (261b<sub>3</sub>)

.....। । ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା । । ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା ।  
ଶିର୍ଷାନ୍ତାଶର୍ଦ୍ଧାଶ୍ରୀନ୍ତାପା ।

M. 242	338b <sub>8</sub> —339a <sub>3</sub> —339a <sub>7</sub>
N. 737	238b <sub>5</sub> —239a <sub>1</sub> —239a <sub>6</sub>
D. 822	261b <sub>1</sub> —261b <sub>3</sub> —261b <sub>7</sub>
P. 445	320a <sub>5</sub> —320a <sub>7</sub> —320b <sub>2</sub>

(vi) N. 内縦巻 帚との関係 上記③のM.=N.=D.=P.の関係はM.とN.を結びつける有力な決め手となる点であるが、さらにそれを補強するものとして、N. 内縦巻 帚との関係が挙げられる。内縦巻 帚はN.の増補の帙であって、そこにM.にしか収載されていない經典が存在していることは、M.とN.との関係を見る上に一つの有力な資料となる。

① M. 143 (呪部 呪 帚 230a<sub>7</sub>—232a<sub>5</sub>)

३·षष्मिण·श्वेषम् यदि·मक्त्वा·ष्टुताष्टुत्या।

(梵題 Col. 次)

=N. 781, 内縦巻 21 (D., P. 次)

② M. 283 (呪部 罷 帚 225a<sub>1</sub>—300a<sub>8</sub>)

४१·षष्मिण·श्वेषम् या।

Karmaprajñapti.

(Col. 次)

=N. 782, 内縦巻 22 (=N. T. 3580, D. 4088)

これは、D. P. N. 共にテンジュール中に同じものが含まれているが、それらは跋文を有し、作者と訳者を記している。しかるにM.とN. 内縦巻 とは Col. を欠きカンジュールに含まれている。

③ M. 284 (呪部 罷 帚 300a<sub>8</sub>—324•25b<sub>8</sub>)

४२·षष्मिण·श्वेषम् या।

Karmavibhaṅga.

(訳者) Jinamitra, Dānaśila, Munivarma, བྷྒྱମྴ རྩାନ୍ତିରା, །ମୁନିବର୍ମା

=N. 783, 円<sup>ノ</sup> 19 (=D. 338, N. 323, P. 1005)

M. と N. 円<sup>ノ</sup> とは跋文を有し全く同一であるが、 D. N. P. は跋文を欠き、 文もやや M. と異なる。

④ 前述の 2—g—i—12 の經典 (M. 276) は、 実は N. 769 (円<sup>ノ</sup> 9) に一致する。

D. P. N. との関係は 3—b—iv にすでに記した。

(vii) 用語用字の問題 M. の最初の部分には 特殊な文字「ゞ」が使用されている。現在使われている文字は「ゞ」であって右肩の「旗」の印は存在しない。しかし歎煌文献にも見出される字形であり、 藏經調査中デルゲ版又はチョーネ版の中で見出した記憶がある。(迂闊にもその箇所を記録して置かなかったので今それを挙げることが出来ないのが残念である。) この文字に関して、金子良太学兄を通じ、来日された H. E. Richardson 教授に質問したところ、帰国された教授は懇切な書簡を賜った。

You mentioned the different ways of writing the Tibetan letter ཧ in ancient documents. I have had a quick look at my material and find that it is written ཧ in the Žol inscription, also in those at Bsam-yas (Khri Sroñ Lde brtsan), the gTsug-lag-khaṇ Treaty inscription of 821~822 and also in the inscription at mTshur-phu (lCañ-bu) (Khri gTsug Lde brtsan, Ralpacen). In the Tunhuang MSS. there is a good deal of variation. It appears as ཧ only rarely in the Annals, but more often in the Chronicles. There the word 'un nas seems to have it regularly and also a final ཧ without a vowel sign. The pillar at Khri Lde Sroñ brtsan's tomb at 'Phyon-rgyas; the inscriptions of his reign at Žva-li Lha-khaṇ, and the sKar-cuṇ inscription, also of the same reign, have ཧ. I cannot

find what may be the form used on the bells at bSam yas, Khra-'brug and Yer-pa. Also much more careful examination is necessary to discover whether the use in the Tunhuang MSS. and elsewhere can provide ground for any theory. I cannot claim to have checked every appearance of the letter in the various inscriptions but have only taken a quick look at them. ....

(21, May, 1960 付金子良太氏宛書簡抜書)

また、M. の中に「brDa-rñin-du snañ-no (旧綴の如し)」と云う Col. を持つもの（例えば M. 312, 199b<sub>1</sub> 等）を見かけた。これは書写者による註記であろうが、語法・語型の点で他版と比較する必要がある。しかし、これらの点についてはその後調査も進まず慚愧に堪えないが、資料を提示して先学諸賢の参考に供する。

#### 4. 結 び

以上 M. に就いて概観したが、特に 3—b—v 及び —vi の事実から、この M. が N.、特に 内部・外縁部と何等かの関係が存在するようと思われる。また、唵・毘盧遮那佛・大悲心陀羅尼 部・毘盧遮那佛 部・大悲心陀羅尼 部に収められる經典の配列が N. と異なる点 (2—g)，整理された他の版本ではテンジュルに収められる典籍がカンジュルである M. に収められている点 (2—g—iii)，全く他の版本に見られぬ典籍が収められている点 (2—g—i, 3—b—v) 等より見れば、N. はもちろん他の版本を底本として M. を書写したとは考えられない。むしろ、それらの版本がカンジュル・テンジュルや般若・諸經・律等々の各部に整理されて行く途中のものを底本としているのではないかと考えられる。

さらに、供養文に三種類ある事(1)、重複部の存在する事(2—e)、その重複部分は丁付の増減や行数の増減を行って底本の丁付と一致させる努力の跡が見られる事(2—c, —e)等によつて、M. に先行する底本があり、しかもそれは從来の刊本と異なる写本で一応大藏經の体裁を整

えたものであると考えられる。

また、羽田野伯猷教授は所謂ナルタン古版が写本であること・その開板年代・その他にも大藏經建立の先駆的努力のあったこと等を詳細に論究しておられる<sup>(3)</sup>。そして、ナルタンとギャンツェのパンゴルチョエデ寺とは地理的にさほど離れていない。

これらの諸点を合せ考えて來ると、現在東洋文庫に所蔵される写本大藏經は、元ギャンツェに在っては供養文A・B・Cに代表される三部または三部以上が存在し、それぞれ年代を違えて転写されて來たものであり、その最も古いものは所謂ナルタン古版若しくはそれに類する古版大藏經を底本として書写されたものと推測し得る。このように見れば、序に於いて述べたこの藏經に就いての伝承は幾分かの真実を含んでいると思われる<sup>(13)</sup>。

## 5. 写本チベット大藏經略目録

### 凡例

Aの表は写本チベット大藏經M. の構成を示す。初めに帙番号と各部の帙番号（括弧内）、およびチベット語のアルファベットによる帙番号及び最終葉の丁付番号を示した。（各葉の左端の丁付番号は正確に葉数と一致しない点に注意を要する。2-c 参照。）

次に第一葉から第三葉までの用紙の大きさを示す。単位は「インチ」である。第四葉以下はおおむね第三葉の大きさと一致する。

Bの表は所収典籍の他版との対照表である。先づ、写本藏經M. の通帙番号と帙内經典番号、次に、所収經典番号及びその首尾の丁付番号(folios)を示し、その右にナルタンN.・北京P.・デルゲD.の各版の対応經典番号を示す。番号は下記の諸目録によった。

N.: ナルタン版：長島尚道 ナルタン版甘殊爾目録（大正大学研究紀要61輯、昭和50年）

N.T.: ナルタン版：壬生台舜 チベット大藏經ナルタン版論疏部目録（1967年大正大学梵文

学研究室）

東洋文庫所蔵、笠松单伝作成、ナルタン版大藏經テンジュル目録カード

P. : 北京康熙版：西藏大藏經甘殊爾勘同目録（昭和7年大谷大学刊）

影印北京版西藏大藏經総目録附索引（昭和36年、鈴木學術財團刊）

D. : デルゲ版：西藏大藏經総目録（昭和9年、東北大学刊；昭和45年、名著出版再刊）

酒井紫朗、デルゲ版西藏大藏經東北目録補遺（文化9巻3号、昭和17年3月）

なお、それらN., P., D.の番号の後に(M.), (R.)等を附したものは、その版に於いてM.と異なる部に所属する事を表す。即ち、

(M.) = མ་ · སྒྲེ · 部 (R.) = རྩྷ · 部

(S.) = བྱତ୍ରୀ · ཤ୍ରୀ · 部 (H.) = ཉྤྱଣ୍ଣ · 部

番号の代りに「—」のあるものは対応する經典を欠くもの（2-g-i参照）、「～」のあるものは対応する經典は存在するが、他の部に属してそちらに挙げられているものである。

また、ナルタン版の番号の前にT. とあるのは、テンジュールの略号、番号の後に\*を附したもののは円「彌」帙に収められるものである。

## A

## I. Hdul-ba. (16 帚, 8 部)

[Vol.]		[folios]	[1st folio]	[2nd folio]	[3rd folio]
1 (1)	Ka.	(1b <sub>1</sub> ~369b <sub>6</sub> ) (註9)	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{3}{4}$ × 7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{7}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$
2 (2)	Kha.	(1b <sub>1</sub> ~362a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{1}{2}$ × 7 $\frac{3}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8 $\frac{3}{8}$
3 (3)	Ga-gon.	(1b <sub>1</sub> ~221b <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8	23 $\frac{5}{8}$ × 7 $\frac{3}{4}$
4 (4)	Ga-hog.	(222a <sub>1</sub> ~389a <sub>7</sub> )	22 $\frac{7}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	(24 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$ )	23 × 7 $\frac{3}{4}$
5 (5)	Na.	(1b <sub>1</sub> ~351a <sub>7</sub> )	23 × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8	24 × 8
6 (6)	Ca.	(1b <sub>1</sub> ~364a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 7 $\frac{3}{4}$	24 × 7 $\frac{5}{8}$
7 (7)	Cha-gon.	(1b <sub>1</sub> ~174b <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8	23 $\frac{1}{4}$ × 7 $\frac{3}{4}$
8 (8)	Cha-hog.	(175a <sub>1</sub> ~380a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{8}$ × 7 $\frac{3}{4}$	(以下同)	
9 (9)	Ja.	(1b <sub>1</sub> ~390a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{5}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8 $\frac{1}{8}$
10 (10)	Na.	(1b <sub>1</sub> ~371a <sub>8</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8	23 $\frac{1}{4}$ × 7 $\frac{7}{8}$	24 $\frac{1}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$
11 (11)	Ta.	(1b <sub>1</sub> ~379a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8	23 $\frac{3}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8 $\frac{3}{8}$
12 (12)	Tha.	(1b <sub>1</sub> ~392a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8	23 $\frac{5}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{7}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$
13 (13)	Da.	(1b <sub>1</sub> ~375a <sub>8</sub> )	23 $\frac{3}{4}$ × 7 $\frac{3}{4}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{8}$	25 $\frac{1}{4}$ × 9
14 (14)	Na.	(1b <sub>1</sub> ~384a <sub>6</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 7 $\frac{7}{8}$	24 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{8}$
15 (15)	Pa.	(1b <sub>1</sub> ~371a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	23 × 7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8 $\frac{3}{8}$
16 (16)	Pha.	(1b <sub>1</sub> ~368a <sub>8</sub> )	23 $\frac{5}{8}$ × 8	23 $\frac{1}{2}$ × 8	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$

## II. Ser-phyin.

三六

## 1. Hbum. (18 帚, 1 部)

17 (1)	Ka.	(1b <sub>1</sub> ~334a <sub>6</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 7 $\frac{7}{8}$	25 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{2}$
18 (2)	Kha.	(1b <sub>1</sub> ~365a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 7 $\frac{3}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$
19 (3)	Ga.	(1b <sub>1</sub> ~328a <sub>9</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8	23 $\frac{3}{4}$ × 7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8

[Vol.]		[folios]	[1st folio]	[2nd folio]	[3rd folio]
20 (4)	Ña.	(1b <sub>1</sub> ~355a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{8}$ ×8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{8}$ ×8	24 ×8 $\frac{1}{8}$
21 (5)	Ca.	(1b <sub>1</sub> ~348a <sub>6</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ ×8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ ×8	23 $\frac{7}{8}$ ×8 $\frac{1}{8}$
22 (6)	Cha.	(1b <sub>1</sub> ~337a <sub>8</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ ×8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{8}$ ×8	24 ×8 $\frac{3}{8}$
23 (7)	Ja.	(1b <sub>1</sub> ~374a <sub>6</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ ×8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{5}{8}$ ×7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{5}{8}$ ×8
24 (8)	Ña.	(1b <sub>1</sub> ~363a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ ×8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{1}{8}$ ×8	24 $\frac{1}{4}$ ×8
25 (9)	Ta-goñ.	(1b <sub>1</sub> ~165b <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ ×7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{1}{2}$ ×8	24 $\frac{1}{8}$ ×7 $\frac{5}{8}$
26 (10)	Ta-hog.	(166a <sub>1</sub> ~333a <sub>7</sub> )	24 ×7 $\frac{3}{4}$	(以下同)	
27 (11)	Tha.	(1b <sub>1</sub> ~336a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ ×8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{1}{2}$ ×7 $\frac{7}{8}$	24 $\frac{1}{8}$ ×8
28 (12)	Da-goñ.	(1b <sub>1</sub> ~118b <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ ×8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ ×8	24 ×7 $\frac{7}{8}$
29 (13)	Da-hog.	(119a <sub>1</sub> ~350a <sub>4</sub> )	23 $\frac{5}{8}$ ×8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ ×8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{3}{4}$ ×8 $\frac{1}{4}$
30 (14)	Na.	(1b <sub>1</sub> ~359a <sub>6</sub> )	22 $\frac{3}{4}$ ×8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{1}{8}$ ×8	23 $\frac{3}{4}$ ×8 $\frac{1}{8}$
31 (15)	Pa.	(1b <sub>1</sub> ~? (註9))	23 $\frac{1}{2}$ ×8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{1}{2}$ ×8	[24 ×8 $\frac{1}{2}$ ]
32 (16)	Pha. (註10)	(1b <sub>1</sub> ~338a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ ×8	23 $\frac{1}{2}$ ×8	24 ×8 $\frac{1}{8}$
33 (17)	Ba.	(1b <sub>1</sub> ~353b <sub>2</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ ×8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ ×8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{7}{8}$ ×8 $\frac{1}{8}$
34 (18)	Ma. (註9)	(1b <sub>1</sub> ~322a <sub>8</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ ×8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ ×8	24 $\frac{1}{8}$ ×8 $\frac{1}{4}$

## 2. Ni-khri. (4 帚, 1 部)

35 (1)	Ka.	(1b <sub>1</sub> ~345a <sub>5</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ ×8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ ×8	23 $\frac{3}{4}$ ×8 $\frac{1}{8}$
36 (2)	Kha.	(1b <sub>1</sub> ~319a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ ×8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ ×7 $\frac{3}{4}$	24 ×8 $\frac{1}{4}$
37 (3)	Ga.	(1b <sub>1</sub> ~349a <sub>8</sub> )	23 $\frac{5}{8}$ ×8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{4}$ ×8	24 $\frac{1}{4}$ ×8 $\frac{1}{4}$
38 (4)	Ña.	(1b <sub>1</sub> ~338a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ ×8	23 $\frac{5}{8}$ ×7 $\frac{7}{8}$	24 ×8 $\frac{1}{4}$

## 3. Khri-brgyad. (3 帚, 1 部)

39 (1)	Ka.	(1b <sub>1</sub> ~348a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ ×8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{1}{8}$ ×7 $\frac{3}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ ×8 $\frac{1}{4}$
40 (2)	Kha.	(1b <sub>1</sub> ~379a <sub>7</sub> )	23 $\frac{5}{8}$ ×8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{5}{8}$ ×8	24 ×8
41 (3)	Ga.	(1b <sub>1</sub> ~371a <sub>8</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ ×8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{5}{8}$ ×8	23 $\frac{3}{4}$ ×8 $\frac{1}{8}$

**4. Khri sna-tshogs. (1帙, 18部)**

[Vol.]	[folios]	[1st folio]	[2nd folio]	[3rd folio]
42 (1) Ka.	(1b <sub>1</sub> ~244a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	24 × 8
43A (1A) Ka.	(1b <sub>1</sub> ~270a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{5}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$
43B (1B) Kha.	(1b <sub>1</sub> ~271a <sub>7</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 × 7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8

**5. Ses-khri. (1帙, 1部)**

44 (1) Ka.	(1b <sub>1</sub> ~354a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8	24 × 7 $\frac{3}{4}$

**III. Phal-chen. (6帙, 1部)**

45 (1) Ka.(註10)	(1b <sub>1</sub> ~331a <sub>7</sub> )	23 $\frac{3}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{5}{8}$ × 7 $\frac{3}{4}$	24 × 8
46 (2) Kha.	(1b <sub>1</sub> ~323a <sub>8</sub> )	23 $\frac{5}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{5}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	23 × 7 $\frac{1}{2}$
47 (3) Ga.	(1b <sub>1</sub> ~329a <sub>8</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	24 × 8	23 $\frac{3}{4}$ × 7 $\frac{3}{4}$
48 (4) Na.	(1b <sub>1</sub> ~330a <sub>5</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 7 $\frac{7}{8}$	24 $\frac{1}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	24 × 8 $\frac{1}{8}$
49 (5) Ca.	(1b <sub>1</sub> ~331a <sub>6</sub> )	24 $\frac{1}{8}$ × 7 $\frac{3}{4}$	23 $\frac{7}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{7}{8}$ × 7 $\frac{3}{4}$
50 (6) Cha.	(1b <sub>1</sub> ~282a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 $\frac{1}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{3}{4}$ × 7 $\frac{7}{8}$

**IV. Dkon-brtsegs. (6帙, 48部)**

51 (1) Ka.	(1b <sub>1</sub> ~294a <sub>8</sub> )(註9)	24 × 7 $\frac{7}{8}$	24 $\frac{1}{8}$ × 7 $\frac{3}{4}$	23 $\frac{5}{8}$ × 8
52 (2) Kha.	(1b <sub>1</sub> ~322a <sub>7</sub> )	23 $\frac{7}{8}$ × 7 $\frac{3}{4}$	24 × 7 $\frac{5}{8}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8
53 (3) Ga.	(1b <sub>1</sub> ~360a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{8}$
54 (4) Na.	(1b <sub>1</sub> ~373a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{2}$

[Vol.]		[folios]	[1st folio]	[2nd folio]	[3rd folio]
55 (5)	Ca.	(1b <sub>1</sub> ~386a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8
56 (6)	Cha.	(1b <sub>1</sub> ~391a <sub>9</sub> )	24 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 $\frac{1}{4}$ × 8	23 $\frac{5}{8}$ × 8 $\frac{1}{8}$
57 (1)	Ka.	(1b <sub>1</sub> ~431a <sub>7</sub> )	23 $\frac{5}{8}$ × 8	23 $\frac{5}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 $\frac{1}{4}$ × 7 $\frac{1}{4}$
58 (2)	Kha.	(1b <sub>1</sub> ~379a <sub>9</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{3}{8}$	24 × 7 $\frac{3}{4}$
59 (3)	Ga.	(1b <sub>1</sub> ~331a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{8}$ × 8	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$	24 $\frac{1}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$
60 (4)	Nā.	(1b <sub>1</sub> ~355a <sub>8</sub> )	23 $\frac{5}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{5}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{7}{8}$ × 7 $\frac{3}{4}$
61 (5)	Ca.	(1b <sub>1</sub> ~359a <sub>8</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 × 7 $\frac{5}{8}$
62 (6)	Cha.	(1b <sub>1</sub> ~361a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ × 7 $\frac{7}{8}$
63 (7)	Ja.	(1b <sub>1</sub> ~362a <sub>7</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{2}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8
64 (8)	Nā.	(1b <sub>1</sub> ~380a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ × 7 $\frac{7}{8}$
65 (9)	Ta.	(1b <sub>1</sub> ~371a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 × 8 $\frac{1}{8}$
66 (10)	Tha.	(1b <sub>1</sub> ~349a <sub>8</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{3}{8}$	24 × 8
67 (11)	Da.	(1b <sub>1</sub> ~360a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{7}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$
68 (12)	Na.	(1b <sub>1</sub> ~363a <sub>7</sub> )	24 × 7 $\frac{1}{2}$	24 × 7 $\frac{3}{4}$	24 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{3}{8}$
69 (13)	Pa.	(1b <sub>1</sub> ~333a <sub>7</sub> )	23 $\frac{3}{4}$ × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{8}$
70 (14)	Pha.	(1b <sub>1</sub> ~378a <sub>8</sub> )	23 $\frac{5}{8}$ × 8 $\frac{1}{2}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{3}{4}$ × 7 $\frac{7}{8}$
71 (15)	Ba.	(1b <sub>1</sub> ~346a <sub>6</sub> )	23 $\frac{1}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{7}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$
72 (16)	Ma.	(1b <sub>1</sub> ~355a <sub>8</sub> ) <sup>(註10)</sup>	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8
73 (17)	Tsa.	(1b <sub>1</sub> ~360a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{3}{8}$	24 $\frac{1}{8}$ × 8
74 (18)	Tsha.	(1b <sub>1</sub> ~363a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{8}$
75 (19)	Dsa.	(1b <sub>1</sub> ~365b <sub>8</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{5}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$
76 (20)	Wa.	(1b <sub>1</sub> ~373a <sub>9</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 × 8 $\frac{3}{8}$
77 (21)	Sha.	(1b <sub>1</sub> ~373a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{8}$ × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{7}{8}$ × 8 $\frac{1}{8}$
78 (22)	Za.	(1b <sub>1</sub> ~321a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 × 8

[Vol.]		[folios]	[1st folio]	[2nd folio]	[3rd folio]
79 (23)	Ha.	(1b <sub>1</sub> ~358a <sub>8</sub> )	23 × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{8}$	24 × 7 $\frac{7}{8}$
80 (24)	Ya.	(1b <sub>1</sub> ~339a <sub>7</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{2}$	23 $\frac{1}{4}$ × 7 $\frac{3}{4}$
81 (25)	Ra.	(1b <sub>1</sub> ~352a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 × 8 $\frac{1}{4}$
82 (26)	La.	(1b <sub>1</sub> ~350a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 × 8 $\frac{1}{4}$
83 (27)	Śa.	(1b <sub>1</sub> ~386a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 $\frac{1}{8}$ × 8 $\frac{1}{8}$
84 (28)	Sa.	(1b <sub>1</sub> ~340a <sub>8</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{4}$ × 7 $\frac{3}{4}$
85 (29)	Ha.	(1b <sub>1</sub> ~376a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 × 8
86 (30)	A.	(1b <sub>1</sub> ~358a <sub>9</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 × 8 $\frac{1}{4}$
87 (31)	Ki.	(1b <sub>1</sub> ~338a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8	23 $\frac{3}{8}$ × 8
88 (32)	Khi.	(1b <sub>1</sub> ~360a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ × 7 $\frac{3}{4}$	24 × 8
89 (33)	Gi.	(1b <sub>1</sub> ~342a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8	23 $\frac{3}{4}$ × 8
90 (34)	Ni.	(1b <sub>1</sub> ~357a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{5}{8}$ × 8	23 $\frac{3}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$
91 (35)	Ci.	(1b <sub>1</sub> ~406a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8	23 $\frac{5}{8}$ × 8 $\frac{1}{8}$	24 × 8 $\frac{3}{8}$
92 (36)	Chi.	(1b <sub>1</sub> ~360a <sub>7</sub> )	23 $\frac{5}{8}$ × 8	23 $\frac{5}{8}$ × 8	24 $\frac{1}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$
93 (37)	Ji.	(1b <sub>1</sub> ~369a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ × 8	23 $\frac{3}{8}$ × 8	24 $\frac{1}{4}$ × 7 $\frac{1}{2}$

## VI. Myāñ-hdas. (3 帖, 1 部)

94 (1)	Ka.	(1b <sub>1</sub> ~305a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8	23 $\frac{1}{2}$ × 7 $\frac{7}{8}$	24 $\frac{1}{8}$ × 8 $\frac{1}{8}$
95 (2)	Kha.	(1b <sub>1</sub> ~298a <sub>6</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{8}$	23 $\frac{5}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8 $\frac{1}{8}$
96 (3)	Ga.	(1b <sub>1</sub> ~292a <sub>5</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$	23 $\frac{1}{4}$ × 8	24 × 8 $\frac{3}{8}$

## VII. Rgyud. (18 帖, 440 部)

97 (1)	Ka.	(1b <sub>1</sub> ~419a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ × 8	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{3}{8}$	24 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{3}{8}$
98 (2)	Kha.	(1b <sub>1</sub> ~393a <sub>9</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 $\frac{1}{8}$ × 7 $\frac{5}{8}$
99 (3)	Ga.	(1b <sub>1</sub> ~375a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{7}{8}$ × 7 $\frac{3}{4}$

[Vol.]		[folios]	[1st folio]	[2nd folio]	[3rd folio]
100 (4)	Ña.	(1b <sub>1</sub> ~397a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$
101 (5)	Ca.	(1b <sub>1</sub> ~408a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ × 7 $\frac{1}{2}$
102 (6)	Cha.	(1b <sub>1</sub> ~432a <sub>8</sub> )	23 × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 × 7 $\frac{1}{2}$
103 (7)	Ja.	(1b <sub>1</sub> ~331a <sub>8</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{7}{8}$ × 8
104 (8)	Ña.	(1b <sub>1</sub> ~336a <sub>7</sub> )	23 $\frac{5}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{5}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 $\frac{1}{8}$ × 7 $\frac{1}{2}$
105 (9)	Ta.	(1b <sub>1</sub> ~296a <sub>9</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{1}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 $\frac{3}{8}$ × 7 $\frac{1}{2}$
106 (10)	Tha.	(1b <sub>1</sub> ~379a <sub>7</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{3}{8}$	24 $\frac{1}{4}$ × 7 $\frac{1}{2}$
107 (11)	Da.	(1b <sub>1</sub> ~424a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 $\frac{1}{4}$ × 7 $\frac{1}{2}$
108 (12)	Na.	(1b <sub>1</sub> ~510a <sub>9</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 $\frac{1}{4}$ × 7 $\frac{1}{2}$
109 (13)	Pa.	(1b <sub>1</sub> ~390a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	24 $\frac{3}{8}$ × 7 $\frac{5}{8}$
110 (14)	Pha.	(1b <sub>1</sub> ~359a <sub>7</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ × 8 $\frac{1}{4}$
111 (15)	Ba.	(1b <sub>1</sub> ~480a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{4}$ × 8	23 $\frac{1}{2}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{5}{8}$ × 7 $\frac{7}{8}$
112 (16)	Ma.	(1b <sub>1</sub> ~498a <sub>8</sub> )	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{8}$ × 8 $\frac{1}{2}$	24 × 7 $\frac{3}{4}$
113 (17)	Tsa.	(1b <sub>1</sub> ~374a <sub>8</sub> )	23 $\frac{1}{2}$ × 8	23 $\frac{3}{8}$ × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{3}{4}$ × 7 $\frac{7}{8}$
114 (18)	Tsha.	(1b <sub>1</sub> ~431a <sub>7</sub> )	23 × 8 $\frac{1}{4}$	23 $\frac{1}{4}$ × 8 $\frac{3}{8}$	23 $\frac{5}{8}$ × 8

## B

## I. Hdul-ba.

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
1-1~	1	( 1b <sub>1</sub> ~° 5-1 )	3	1032	3
6-1	2	( 1b <sub>1</sub> ~ 32a <sub>8</sub> )	4	1033	4
6-2~	3	( 32a <sub>8</sub> ~364a <sub>7</sub> )	5	1034	5
7-1		( 1b <sub>1</sub> ~ 66b <sub>2</sub> )			
7-2	4	( 66b <sub>2</sub> ~ 91b <sub>8</sub> )	2	1031	2
7-3~	5	( 91b <sub>8</sub> ~° 12-1 )	1	1030	1
12-2~		( 216a <sub>4</sub> ~° 14-1 )	6	1035	6
14-2~	7	( 335a <sub>1</sub> ~° 15-1 )	7	1036	7
15-2~	8	( 75b <sub>8</sub> ~° 16-1 )	8	1037	7A

## II. Ser-phyin.

## 1. Hbum.

17-1~	9	( 1b <sub>1</sub> ~° 34-1 )	9	730	8
-------	---	--------------------------------	---	-----	---

## 2. Ni-khri.

35-1~	10	( 1b <sub>1</sub> ~° 38-1 )	10	731	9
-------	----	--------------------------------	----	-----	---

## 3. Khri-brgyad.

39-1~	11	( 1b <sub>1</sub> ~° 41-1 )	11	732	10
-------	----	--------------------------------	----	-----	----

## 4. Khri sna-tshogs.

42-1	12	( 1b <sub>1</sub> ~113a <sub>2</sub> )	14	736	14
-2	13-33-45	(113a <sub>2</sub> ~149b <sub>5</sub> )	15	737	24
-3	14	(149b <sub>6</sub> ~173a <sub>4</sub> )	16	738	15
-4	15	(173a <sub>5</sub> ~196b <sub>7</sub> )	17	735	13
-5	16	(196b <sub>8</sub> ~215a <sub>6</sub> )	18	739	16
-6	17-442	(215a <sub>7</sub> ~224b <sub>6</sub> )	19	~	17
-7	18-506	(224b <sub>7</sub> ~227a <sub>4</sub> )	20	~	25
-8	19	(227a <sub>4</sub> ~230b <sub>1</sub> )	21	740	18
-9	20	(230b <sub>2</sub> ~230b <sub>8</sub> )	22	741	23
42-10	21-507	(231a <sub>1</sub> ~233a <sub>3</sub> )	23	~	19
-11	22-483	(233a <sub>4</sub> ~235a <sub>8</sub> )	24	~	22
-12	23-442	(235a <sub>8</sub> ~236b <sub>7</sub> )	25	~	20

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
-13	24=484	(236b <sub>8</sub> ~238b <sub>1</sub> )	26	~	21
-14	25=212	(238b <sub>1</sub> ~240a <sub>6</sub> )	27	742	26
-15	26	(240a <sub>7</sub> ~241b <sub>7</sub> )	28	743	27
-16	27	(241b <sub>7</sub> ~242b <sub>3</sub> )	29	744	28
-17	28	(242b <sub>3</sub> ~243a <sub>8</sub> )	30	745	29
-18	29	(243b <sub>1</sub> ~244a <sub>8</sub> )	31	746	30

## 5. Ses-khri

43A-1~}	30	( 1b <sub>1</sub> ~° °~271a <sub>7</sub> ) }	12	733	11
---------	----	---	----	-----	----

## 6. Brgyad-ston

44-1	31	( 1b <sub>1</sub> ~354a <sub>8</sub> )	13	734	12
------	----	--	----	-----	----

## III. Phal-chen.

45-1~}	32 cf. 316	( 1b <sub>1</sub> ~° °~282a <sub>8</sub> ) }	32	761	44
--------	------------	---	----	-----	----

## IV. Dkon-brtsegs.

51-1	33-1	( 1b <sub>1</sub> ~ 55b <sub>7</sub> )	33	760-1	45
-2	-2	( 55b <sub>7</sub> ~121a <sub>3</sub> )	34	°-2	46
-3	-3	(121a <sub>3</sub> ~251b <sub>6</sub> )	35	°-3	47
-4(註9)	-4	(251b <sub>6</sub> ~294b <sub>8</sub> )	36	°-4	48
52-1	-5	( 1b <sub>1</sub> ~ 86a <sub>5</sub> )	38	760-6	50
-2	-6	( 86a <sub>5</sub> ~173b <sub>2</sub> )	39	°-7	51
-3	-7	(173b <sub>2</sub> ~203b <sub>4</sub> )	40	°-8	52
-4	-8	(203b <sub>4</sub> ~229a <sub>8</sub> )	41	°-9	53
-5	-9	(229a <sub>8</sub> ~243b <sub>6</sub> )	42	°-10	54
-6	-10	(243b <sub>7</sub> ~322a <sub>7</sub> )	43	°-11	55
53-1	-11	( 1b <sub>1</sub> ~303a <sub>3</sub> )	44	760-12	56
-2	-12	(303a <sub>3</sub> ~317b <sub>8</sub> )	45	°-13	58
-3	-13	(317b <sub>8</sub> ~360a <sub>8</sub> )	46	°-14	57
54-1	-14	( 1b <sub>1</sub> ~ 59a <sub>1</sub> )	47	760-15	59
-2	-15	( 59a <sub>2</sub> ~261a <sub>4</sub> )	48	°-16	60
-3	-16	(261a <sub>4</sub> ~336b <sub>1</sub> )	49	°-18	61
-4	-17=178	(336b <sub>1</sub> ~373a <sub>8</sub> )	50	°-17	62
55-1	-18	( 1b <sub>1</sub> ~ 41b <sub>4</sub> )	51	760-19	63
-2	-19	( 41b <sub>4</sub> ~ 61a <sub>2</sub> )	52	°-20	64
-3	-20	( 61a <sub>3</sub> ~ 82a <sub>8</sub> )	53	°-21	65
-4	-21	( 82b <sub>1</sub> ~122b <sub>1</sub> )	54	°-22	66
-5	-22	(122b <sub>1</sub> ~176b <sub>4</sub> )	55	°-23	67
-6	-23	(176b <sub>4</sub> ~197a <sub>5</sub> )	56	°-24	68
-7	-24	(197a <sub>5</sub> ~224a <sub>8</sub> )	57	°-25	69
-8	-25	(224b <sub>1</sub> ~257a <sub>6</sub> )	58	°-26	70

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
55-9	33-26	(257a <sub>6</sub> ~274a <sub>3</sub> )	59	760-27	71
-10	-27	(274a <sub>3</sub> ~287a <sub>2</sub> )	60	°-28	72
-11	-28	(287a <sub>3</sub> ~299b <sub>1</sub> )	61	°-29	73
-12	-29	(299b <sub>2</sub> ~307b <sub>5</sub> )	62	°-30	74
-13	-30	(307b <sub>5</sub> ~312a <sub>1</sub> )	63	°-31	75
-14	-31	(312a <sub>1</sub> ~330b <sub>6</sub> )	64	°-32	76
-15	-32	(331a <sub>1</sub> ~356a <sub>1</sub> )	65	°-33	77
-16	-33=123 cf. 99	(356a <sub>1</sub> ~361b <sub>2</sub> )	66	°-34	78
-17	-34	(361b <sub>3</sub> ~386a <sub>7</sub> )	67	°-35	79
56-1	-35	( 1b <sub>1</sub> ~ 59b <sub>6</sub> )	68	760-36	80
-2	-36	( 59b <sub>6</sub> ~ 62b <sub>5</sub> )	69	°-37	81
-3	-37 cf. 59	( 62b <sub>5</sub> ~111b <sub>7</sub> )	70	°-38	82
-4	-38	(111b <sub>7</sub> ~140a <sub>4</sub> )	71	°-39	83
-5	-39	(140a <sub>4</sub> ~150b <sub>5</sub> )	72	°-40	84
-6	-40	(150b <sub>5</sub> ~164b <sub>1</sub> )	73	°-41	85
-7	-41	(164b <sub>1</sub> ~167b <sub>5</sub> )	74	°-42	86
-8	-42	(167b <sub>6</sub> ~207a <sub>8</sub> )	75	°-43	87
-9	-43	(207b <sub>1</sub> ~237a <sub>8</sub> )	76	°-45	88
-10	-44	(237a <sub>8</sub> ~246a <sub>1</sub> )	77	°-44	89
-11	-45=13	(246a <sub>1</sub> ~280a <sub>8</sub> )	78	°-46	90
-12	-46	(280a <sub>8</sub> ~336a <sub>1</sub> )	79	°-47	91
-13	-47	(336a <sub>1</sub> ~364b <sub>7</sub> )	80	°-48	92
-14	-48	(364b <sub>8</sub> ~391a <sub>9</sub> )	81	°-49	93

## V. Mdo-sde.

57-1	34	( 1b <sub>1</sub> ~431a <sub>7</sub> )	82	762	94
58-1	35	( 1b <sub>1</sub> ~281b <sub>8</sub> )	83	763	95
-2	36 cf. 257	(282a <sub>1</sub> ~379a <sub>9</sub> )	205	886	220
59-1	37	( 1b <sub>1</sub> ~ 28b <sub>4</sub> )	184	865	198
-2(註11)	38	( 28b <sub>4</sub> ~132a <sub>2</sub> )	—	—	—
-3	39	(132a <sub>2</sub> ~143a <sub>4</sub> )	260	941	275
-4	40	(143a <sub>5</sub> ~305a <sub>8</sub> )	286	967	301
-5	41	(305b <sub>1</sub> ~322a <sub>8</sub> )	172	853	186
四四	-6	(322b <sub>1</sub> ~327b <sub>7</sub> )	310	991	325
-7	43	(327b <sub>7</sub> ~329b <sub>7</sub> )	287	968	302
-8	44	(329b <sub>7</sub> ~331a <sub>8</sub> )	T. 50	2050	1161
60-1	45	( 1b <sub>1</sub> ~223b <sub>6</sub> )	100	780	112
-2	46	(223b <sub>6</sub> ~323b <sub>5</sub> )	99	779	111
-3	47 cf. 276	(323b <sub>5</sub> ~324a <sub>4</sub> )	296	977	311
-4	48=457	(324a <sub>5</sub> ~355a <sub>8</sub> )	~	~	~
61-1	49	( 1b <sub>1</sub> ~359a <sub>8</sub> )	87	767	99
62-1	50	( 1b <sub>1</sub> ~ 64a <sub>4</sub> )	155	836	169

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
62-2	51	( 64a <sub>5</sub> ~112a <sub>6</sub> )	213	894	228
-3	52	(112a <sub>7</sub> ~114a <sub>6</sub> )	175	856	189
-4	53	(114a <sub>6</sub> ~118a <sub>8</sub> )	156	837	170
-5	54	(118b <sub>1</sub> ~120a <sub>7</sub> )	327	1009	342
-6	55	(120a <sub>8</sub> ~124a <sub>1</sub> )	113	794	126
-7	56	(124a <sub>2</sub> ~128b <sub>3</sub> )	158	839	172
-8	57	(128b <sub>4</sub> ~131b <sub>8</sub> )	313	994	328
-9	58	(132a <sub>1</sub> ~133b <sub>6</sub> )	253	934	268
-10	59 cf. 33-37	(133b <sub>7</sub> ~169a <sub>5</sub> )	246	927	261
-11	60	(169a <sub>6</sub> ~194a <sub>6</sub> )	269	950	284
-12	61	(194a <sub>6</sub> ~211a <sub>2</sub> )	137	818	151
-13	62	(211a <sub>2</sub> ~231b <sub>7</sub> )	339	1021	352
-14	63	(231b <sub>7</sub> ~232b <sub>4</sub> )	316	997	331
-15	64	(232b <sub>4</sub> ~240b <sub>2</sub> )	259	940	274
-16	65	(240b <sub>2</sub> ~282b <sub>6</sub> )	88	768	100
-17	66	(282b <sub>6</sub> ~361a <sub>8</sub> )	186	867	201
63-1	67	( 1b <sub>1</sub> ~ 77b <sub>3</sub> )	119	800	132
-2	68	( 77b <sub>4</sub> ~123a <sub>7</sub> )	116	797	129
-3	69	(123a <sub>2</sub> ~341a <sub>1</sub> )	114	795	127
-4	70	(341a <sub>4</sub> ~362a <sub>7</sub> )	302	983	317
64-1	71	( 1b <sub>1</sub> ~187a <sub>1</sub> )	224	905	239
-2	72	(187a <sub>2</sub> ~203b <sub>3</sub> )	243	924	258
-3	73	(203b <sub>3</sub> ~249b <sub>8</sub> )	122	804	136
-4	74	(249b <sub>8</sub> ~260b <sub>8</sub> )	124	805	137
-5	75	(260b <sub>8</sub> ~286b <sub>5</sub> )	117	798	130
-6	76	(286b <sub>6</sub> ~348b <sub>2</sub> )	90	770	102
-7	77	(348b <sub>2</sub> ~352a <sub>4</sub> )	304	985	319
-8	78	(352a <sub>4</sub> ~366a <sub>1</sub> )	189	870	204
-9	79	(366a <sub>1</sub> ~378b <sub>6</sub> )	204	885	219
-10	80	(378b <sub>6</sub> ~379a <sub>8</sub> )	239	920	254
-11(註12)	81 cf. 233, 235	(379a <sub>8</sub> ~380a <sub>8</sub> )	cf. 176 & 264	cf. 857 & 945	cf. 190 & 279
65-1	82	( 1b <sub>1</sub> ~143a <sub>8</sub> )	217	898	232
-2	83	(143a <sub>8</sub> ~248b <sub>8</sub> )	198	879	213
-3	84	(249a <sub>1</sub> ~299b <sub>7</sub> )	208	889	223
-4	85	(299b <sub>8</sub> ~303b <sub>2</sub> )	193	874	208
-5	86=473	(303b <sub>2</sub> ~304b <sub>5</sub> )	197	878	212
-6	87	(304b <sub>6</sub> ~316b <sub>4</sub> )	170	851	184
-7	88	(316b <sub>4</sub> ~331a <sub>8</sub> )	91	771	103
-8	89	(331b <sub>1</sub> ~336b <sub>4</sub> )	164	845	178
-9	90	(336b <sub>4</sub> ~342a <sub>4</sub> )	244	925	259
-10	91	(342a <sub>4</sub> ~363b <sub>5</sub> )	85	765	97
-11	92	(363b <sub>5</sub> ~370a <sub>8</sub> )	182	863	196
-12	93	(370a <sub>8</sub> ~371a <sub>8</sub> )	163	844	177

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
66-1	94	( 1b <sub>1</sub> ~295a <sub>2</sub> )	89	769	101
-2	95	(295a <sub>2</sub> ~349a <sub>8</sub> )	207	888	222
67-1	96	( 1b <sub>1</sub> ~101b <sub>7</sub> )	247	928	262
-2	97=245	(101b <sub>7</sub> ~290b <sub>7</sub> )	95	775	107
-3	98	(290b <sub>8</sub> ~297a <sub>8</sub> )	261	942	276
-4	99 cf. 33-33-123	(297b <sub>1</sub> ~303b <sub>1</sub> )	257	938	272
-5	100	(303b <sub>1</sub> ~308a <sub>3</sub> )	256	937	271
-6	101	(308a <sub>4</sub> ~310b <sub>4</sub> )	263	944	278
-7	102=224	(310b <sub>5</sub> ~312b <sub>8</sub> )	262	943	277
-8	103	(313a <sub>1</sub> ~317a <sub>3</sub> )	183	864	197
-9	104	(317a <sub>3</sub> ~339a <sub>7</sub> )	241	922	256
-10	105	(339a <sub>7</sub> ~342a <sub>7</sub> )	306	987	321
-11	106	(342a <sub>7</sub> ~360a <sub>8</sub> )	192	873	207
68-1	107	( 1b <sub>1</sub> ~ 70b <sub>1</sub> )	94	774	106
-2	108	( 70b <sub>1</sub> ~136a <sub>6</sub> )	121	802	134
-3	109	(136a <sub>7</sub> ~332b <sub>8</sub> )	242	923	257
-4	110	(332b <sub>8</sub> ~348a <sub>3</sub> )	233	914	248
-5	111	(348a <sub>3</sub> ~363a <sub>7</sub> )	344	1026	357
69-1	112	( 1b <sub>1</sub> ~151a <sub>2</sub> )	248	929	263
-2	113	(151a <sub>2</sub> ~166b <sub>2</sub> )	229	910	244
-3	114	(166b <sub>2</sub> ~287a <sub>6</sub> )	223	904	238
-4	115	(287a <sub>6</sub> ~294b <sub>2</sub> )	230	911	245
-5	116	(294b <sub>2</sub> ~298b <sub>4</sub> )	240	921	255
-6	117	(298b <sub>5</sub> ~303a <sub>6</sub> )	232	913	247
-7	118	(303a <sub>6</sub> ~303b <sub>8</sub> )	235	916	250
-8	119	(303b <sub>8</sub> ~315a <sub>2</sub> )	279	960	294
-9	120	(315a <sub>2</sub> ~333a <sub>7</sub> )	273	954	288
70-1	121	( 1b <sub>1</sub> ~ 25b <sub>4</sub> )	245	926	260
-2	122	( 25b <sub>4</sub> ~ 40b <sub>2</sub> )	126	807	139
-3	123-33-33 cf. 99	( 40b <sub>3</sub> ~ 45b <sub>7</sub> )	~	~	~
-4	124	( 45b <sub>7</sub> ~ 64b <sub>7</sub> )	149	830	163
-5	125	( 64b <sub>7</sub> ~ 72b <sub>6</sub> )	206	887	221
-6	126	( 72b <sub>7</sub> ~115b <sub>6</sub> )	218	899	233
-7	127	(115b <sub>6</sub> ~133+34b <sub>3</sub> )	181	862	195
-8	128	(133+34b <sub>4</sub> ~195a <sub>4</sub> )	784*	472(R.)	145
-9	129	(195a <sub>4</sub> ~214a <sub>3</sub> )	203	884	218
-10	130	(214a <sub>3</sub> ~224a <sub>6</sub> )	150	831	164
-11(註11)	131	(224a <sub>6</sub> ~363b <sub>5</sub> )	—	—	—
-12	132	(363b <sub>6</sub> ~376b <sub>3</sub> )	231	912	246
-13	133	(376b <sub>3</sub> ~377a <sub>8</sub> )	234	915	249
-14	134	(377a <sub>8</sub> ~378a <sub>8</sub> )	236	917	251
71-1	135	( 1b <sub>1</sub> ~146b <sub>8</sub> )	138	819	152
-2	136	(146b <sub>8</sub> ~251a <sub>8</sub> )	139	820	153

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
71-3	137	(251a <sub>8</sub> ~210b <sub>5</sub> )	140	821	154
-4	138	(260b <sub>5</sub> ~261a <sub>8</sub> )	141	822	155
-5	139	(261a <sub>8</sub> ~285b <sub>8</sub> )	177	858	191
-6	140	(286a <sub>1</sub> ~330b <sub>6</sub> )	153	834	167
-7	141	(330b <sub>6</sub> ~346a <sub>6</sub> )	145	826	159
72-1(註10)	142	( 1b <sub>1</sub> ~230a <sub>7</sub> )	101	781	113
-2	143	(230a <sub>7</sub> ~232a <sub>5</sub> )	785*	—	—
-3	144	(232a <sub>5</sub> ~239b <sub>4</sub> )	337	1019	350
-4	145	(239b <sub>5</sub> ~241a <sub>5</sub> )	312	993	327
-5	146	(241a <sub>6</sub> ~242b <sub>8</sub> )	169	850	183
-6	147	(243a <sub>1</sub> ~246a <sub>3</sub> )	283	964	298
-7	148	(246a <sub>3</sub> ~249b <sub>5</sub> )	319	1000	334
72-8(註11)	149	(249b <sub>6</sub> ~251a <sub>6</sub> )	cf. 314	cf. 995	cf. 329
-9	150	(251a <sub>7</sub> ~253a <sub>7</sub> )	295	976	310
-10	151	(253a <sub>8</sub> ~348b <sub>8</sub> )	120	801	133
-11	152	(348b <sub>8</sub> ~355a <sub>8</sub> )	299	980	314
73-1	153	( 1b <sub>1</sub> ~ 10b <sub>5</sub> )	254	935	269
-2	154	( 10b <sub>5</sub> ~ 80a <sub>4</sub> )	249	930	264
-3	155	( 80a <sub>4</sub> ~120b <sub>2</sub> )	215	896	230
-4	156=668	(120b <sub>2</sub> ~146a <sub>8</sub> )	86	766	98
-5	157	(146a <sub>8</sub> ~179b <sub>4</sub> )	250	931	265
-6	158	(179b <sub>4</sub> ~332a <sub>4</sub> )	216	897	231
-7	159	(332a <sub>4</sub> ~335b <sub>5</sub> )	331	1013	344
-8	160	(335b <sub>5</sub> ~360a <sub>7</sub> )	336	1018	349
74-1	161	( 1b <sub>1</sub> ~110a <sub>7</sub> )	134	815	148
-2	162	(110a <sub>7</sub> ~112b <sub>1</sub> )	190	871	205
-3	163	(112b <sub>1</sub> ~123a <sub>7</sub> )	144	825	158
-4	164	(123a <sub>7</sub> ~133b <sub>2</sub> )	106	786	118
-5	165	(133b <sub>2</sub> ~230a <sub>6</sub> )	146	827	160
-6	166	(230a <sub>6</sub> ~313b <sub>7</sub> )	143	824	157
-7	167	(313b <sub>7</sub> ~363a <sub>8</sub> )	147	828	161
75-1	168	( 1b <sub>1</sub> ~118a <sub>8</sub> )	161	842	175
-2	169	(118a <sub>8</sub> ~248b <sub>8</sub> )	133	814	147
-3	170	(248b <sub>8</sub> ~259b <sub>5</sub> )	237	918	252
-4	171	(259b <sub>5</sub> ~265b <sub>8</sub> )	129	810	142
-5	172	(266a <sub>1</sub> ~354b <sub>1</sub> )	162	843	176
75-6(註11)	173	(354b <sub>1</sub> ~356a <sub>4</sub> )	—	—	—
-7	174	(356a <sub>4</sub> ~357a <sub>7</sub> )	321	1002	336
-8	175	(357a <sub>7</sub> ~358a <sub>7</sub> )	285	966	300
-9	176	(358a <sub>7</sub> ~360a <sub>1</sub> )	92	772	104
-10	177	(360a <sub>1</sub> ~365b <sub>8</sub> )	303	984	318
76-1	178=33-17	( 1b <sub>1</sub> ~ 40b <sub>6</sub> )	—	—	—
-2	179	( 40b <sub>6</sub> ~231a <sub>8</sub> )	107	788	120

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
76-3	180	(231b <sub>1</sub> ~373a <sub>9</sub> )	340	1022	353
77-1	181	( 1b <sub>1</sub> ~103a <sub>4</sub> )	160	841	174
-2	182	(103a <sub>4</sub> ~146b <sub>8</sub> )	214	895	229
-3	183	(146b <sub>8</sub> ~176b <sub>6</sub> )	165	846	179
-4	184	(176b <sub>6</sub> ~190a <sub>3</sub> )	209	890	224
-5	185	(190a <sub>3</sub> ~194a <sub>8</sub> )	188	869	203
-6	186	(194a <sub>8</sub> ~200a <sub>3</sub> )	103	783	115
-7	187	(200a <sub>4</sub> ~205a <sub>1</sub> )	152	833	166
-8	188	(205a <sub>1</sub> ~211a <sub>3</sub> )	185	866	200
-9	189	(211a <sub>3</sub> ~231b <sub>8</sub> )	187	868	202
-10	190=458	(231b <sub>8</sub> ~245b <sub>3</sub> )	~	~	~
-11	191	(245b <sub>3</sub> ~256a <sub>7</sub> )	195	876	210
-12	192	(256a <sub>8</sub> ~276a <sub>3</sub> )	202	883	217
-13	193	(276a <sub>3</sub> ~280b <sub>5</sub> )	115	796	128
-14	194	(280b <sub>5</sub> ~283a <sub>6</sub> )	159	840	173
-15	195	(283a <sub>6</sub> ~291a <sub>2</sub> )	—	—	199
-16	196	(291a <sub>2</sub> ~292b <sub>4</sub> )	210	891	225
-17	197	(292b <sub>4</sub> ~292b <sub>7</sub> )	308	989	323
-18	198	(292b <sub>7</sub> ~293a <sub>5</sub> )	309	990	324
-19	199	(293a <sub>6</sub> ~298a <sub>4</sub> )	157	838	171
-20	200	(298a <sub>4</sub> ~299b <sub>8</sub> )	191	872	206
-21	201	(299b <sub>8</sub> ~300b <sub>4</sub> )	109	790	122
-22	202	(300b <sub>4</sub> ~309b <sub>7</sub> )	276	957	291
-23	203	(309b <sub>7</sub> ~314a <sub>7</sub> )	277	958	292
-24	204	(314a <sub>8</sub> ~316b <sub>1</sub> )	278	959	293
-25	205	(316b <sub>1</sub> ~323b <sub>3</sub> )	274	955	289
-26	206	(323b <sub>3</sub> ~329a <sub>4</sub> )	318	999	333
-27	207	(329a <sub>5</sub> ~373a <sub>7</sub> )	251	932	266
78-1	208 cf. 286	( 1b <sub>1</sub> ~ 5a <sub>7</sub> )	322	1003	337
-2	209	( 5a <sub>7</sub> ~ 6a <sub>7</sub> )	288	969	303
-3	210	( 6a <sub>8</sub> ~ 7a <sub>4</sub> )	180	861	194
-4	211	( 7a <sub>5</sub> ~ 8a <sub>4</sub> )	136	817	150
-5	212=25	( 8a <sub>4</sub> ~9[goñ]b <sub>8</sub> )	~	~	~
-6	213	(9[hog]a <sub>1</sub> ~ 36b <sub>4</sub> )	123	803	135
-7	214	( 36b <sub>5</sub> ~ 66b <sub>6</sub> )	118	799	131
-8	215	( 66b <sub>6</sub> ~ 67b <sub>4</sub> )	135	816	149
-9	216=220	( 67b <sub>5</sub> ~ 85a <sub>3</sub> )	228	909	243
-10	217	( 85a <sub>3</sub> ~ 99a <sub>3</sub> )	341	1023	354
-11	218	( 99a <sub>4</sub> ~ 99b <sub>3</sub> )	267	948	282
-12	219	( 99b <sub>4</sub> ~100b <sub>5</sub> )	268	949	283
-13	220=216	(100b <sub>6</sub> ~118a <sub>1</sub> )	~	~	~
-14	221	(118a <sub>1</sub> ~221b <sub>6</sub> )	167	848	181
-15	222	(221b <sub>6</sub> ~247a <sub>8</sub> )	168	849	182

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
78-16	223	(247a <sub>8</sub> ~321a <sub>8</sub> )	201	882	216
79-1	224=102	( 1b <sub>1</sub> ~ 6b <sub>6</sub> )	262	943	277
-2	225	( 6b <sub>6</sub> ~ 38b <sub>5</sub> )	84	764	96
-3	226	( 38b <sub>5</sub> ~ 50a <sub>5</sub> )	174	855	188
-4	227	( 50a <sub>6</sub> ~ 53b <sub>3</sub> )	178	859	192
-5	228	( 53b <sub>4</sub> ~ 88a <sub>3</sub> )	131	812	144
-6	229	( 88a <sub>3</sub> ~ 97a <sub>1</sub> )	97	777	109
-7	230	( 97a <sub>1</sub> ~126a <sub>5</sub> )	221	902	236
-8	231	(126a <sub>5</sub> ~132a <sub>4</sub> )	282	963	297
-9	232	(132a <sub>4</sub> ~134[goñ]b <sub>1</sub> )	305	986	320
-10	233 cf. 81	(134[goñ]b <sub>2</sub> ~134[hog]a <sub>5</sub> )	264	945	279
-11	234	(134[hog]a <sub>5</sub> ~172+173a <sub>8</sub> )	166	847	180
-12	235 cf. 81	(172+173a <sub>8</sub> ~203b <sub>6</sub> )	176	857	190
-13	236	(203b <sub>6</sub> ~209a <sub>7</sub> )	194	875	209
-14	237	(209a <sub>8</sub> ~212a <sub>4</sub> )	211	892	226
-15	238	(212a <sub>4</sub> ~276a <sub>4</sub> )	104	784	116
-16	239	(276a <sub>4</sub> ~358a <sub>8</sub> )	225	906	240
80-1	240=509	( 1b <sub>1</sub> ~165a <sub>2</sub> )	~	~	~
-2	241=508	(165a <sub>2</sub> ~338b <sub>7</sub> )	489	174	555
-3(註11, 12)	242 cf. 325=760	(338b <sub>8</sub> ~339a <sub>7</sub> )	cf. 737(R.)	cf. 445(R.)	cf. 822(R.)
81-1	243=517	( 1b <sub>1</sub> ~137b <sub>8</sub> )	125	806	138
-2	244	(137b <sub>8</sub> ~147b <sub>8</sub> )	291	972	306
-3	245=97	(148a <sub>1</sub> ~352a <sub>8</sub> )	95	775	107
82-1	246	( 1b <sub>1</sub> ~ 85a <sub>1</sub> )	132	813	146
-2	247	( 85a <sub>2</sub> ~137b <sub>8</sub> )	171	852	185
-3(註11)	248	(137b <sub>8</sub> ~165+66a <sub>6</sub> )	—	—	—
-4	249	(165+66a <sub>6</sub> ~277a <sub>2</sub> )	111	792	124
-5	250	(277a <sub>2</sub> ~349b <sub>1</sub> )	98	778	110
-6	251	(349b <sub>1</sub> ~350a <sub>8</sub> )	301	982	316
83-1	252	( 1b <sub>1</sub> ~386a <sub>8</sub> )	330	1012	343
84-1	253	( 1b <sub>1</sub> ~ 30a <sub>6</sub> )	334	1016	347
-2	254	( 30a <sub>7</sub> ~ 33a <sub>2</sub> )	332	1014	345
-3	255	( 33a <sub>2</sub> ~ 45a <sub>6</sub> )	335	1017	348
-4	256	( 45a <sub>7</sub> ~ 54b <sub>8</sub> )	333	1015	346
-5	257 cf. 36	( 55a <sub>1</sub> ~135b <sub>2</sub> )	110	791	123
-6	258	(135b <sub>2</sub> ~140a <sub>8</sub> )	317	998	332
-7	259	(140b <sub>1</sub> ~144b <sub>4</sub> )	307	988	322
-8	260	(144b <sub>5</sub> ~161b <sub>5</sub> )	212	893	227
-9	261	(161b <sub>5</sub> ~167b <sub>5</sub> )	148	829	162
-10	262	(167b <sub>6</sub> ~184b <sub>3</sub> )	222	903	237
-11	263	(184b <sub>3</sub> ~238b <sub>8</sub> )	105	785	117
-12(註11)	264	(238b <sub>8</sub> ~240a <sub>6</sub> )	—	—	—
-13(註11)	265	(240a <sub>6</sub> ~241b <sub>6</sub> )	—	—	—

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
84-14(註11)	266	(241b <sub>6</sub> ~244a <sub>1</sub> )	—	—	—
-15	267	(244a <sub>2</sub> ~263b <sub>6</sub> )	338	1020	351
-16(註11)	268	(263b <sub>7</sub> ~266b <sub>8</sub> )	—	—	—
-17	269	(266b <sub>8</sub> ~278b <sub>7</sub> )	T. 3688	5697	4199
-18	270	(278b <sub>7</sub> ~284b <sub>6</sub> )	346	1029	359
-19	271(1)	(284b <sub>7</sub> ~306b <sub>7</sub> )	T. 3807	5815	} 4321
-20	271(2)	(306b <sub>8</sub> ~328b <sub>1</sub> )	T. 3808	5816	
-21(註11)	272	(328b <sub>1</sub> ~340a <sub>8</sub> )	—	—	—
85-1~}	273	( 1b <sub>1</sub> ~° ~222b <sub>1</sub> )	325	1007	340
86-1 }	274	(222b <sub>1</sub> ~227a <sub>2</sub> )	343	1025	356
86-2	275=681	(227a <sub>2</sub> ~297a <sub>5</sub> )	154	835	168
-3	276 cf. 47	(297a <sub>5</sub> ~297b <sub>7</sub> )	cf. 296	cf. 977	cf. 311
-4(註11)	277	(297b <sub>7</sub> ~358a <sub>9</sub> )	345	1027	358
87-1~}	278	( 1b <sub>1</sub> ~° ~357a <sub>7</sub> )	272	953	287
90-1 }	279	( 1b <sub>1</sub> ~209b <sub>1</sub> )	326	1008	341
91-1	280	(209b <sub>2</sub> ~210b <sub>5</sub> )	284	965	299
-2	281	(210b <sub>5</sub> ~222b <sub>2</sub> )	293	974	308
-3	282	(222b <sub>2</sub> ~224b <sub>8</sub> )	108	789	121
-4	283	(225a <sub>1</sub> ~300a <sub>8</sub> )	786*, T. 3580	5589	4088
-5	284	(300a <sub>8</sub> ~324~25b <sub>8</sub> )	783*, cf. 323	cf. 1005	cf. 338
-6	285=510	(324~25b <sub>8</sub> ~406a <sub>8</sub> )	~	~	~
92-1	286 cf. 208	( 1b <sub>1</sub> ~ 6b <sub>8</sub> )	347	747(§.)	31(§.)
-2	287	( 6b <sub>8</sub> ~ 97b <sub>2</sub> )	348	748(§.)	32(§.)
-3	288	( 97b <sub>3</sub> ~109b <sub>3</sub> )	349	749(§.)	33(§.)
-4	289	(109b <sub>4</sub> ~114a <sub>2</sub> )	350	750(§.)	34(§.)
-5	290	(114a <sub>2</sub> ~122b <sub>2</sub> )	351	751(§.)	35(§.)
-6	291	(122b <sub>3</sub> ~123b <sub>6</sub> )	352	752(§.)	36(§.)
-7	292	(123b <sub>6</sub> ~131a <sub>1</sub> )	353	753(§.)	37(§.)
-8	293	(131a <sub>2</sub> ~134b <sub>7</sub> )	354	754(§.)	38(§.)
-9	294	(134b <sub>7</sub> ~135b <sub>7</sub> )	300	981	315
-10	295	(135b <sub>7</sub> ~150b <sub>4</sub> )	324	1006	339
-11	296	(150b <sub>4</sub> ~158b <sub>6</sub> )	292	973	307
-12	297	(158b <sub>6</sub> ~183a <sub>5</sub> )	280	961	295
-13	298	(183a <sub>6</sub> ~186b <sub>4</sub> )	289	970	304
-14	299	(186b <sub>4</sub> ~188b <sub>6</sub> )	281	962	296
-15	300	(188b <sub>6</sub> ~192a <sub>2</sub> )	355	755(§.)	39(§.)
-16	301	(192a <sub>2</sub> ~193a <sub>8</sub> )	356	756(§.)	40(§.)
-17	302	(193a <sub>8</sub> ~194a <sub>6</sub> )	357	757(§.)	41(§.)
-18	303	(194a <sub>6</sub> ~195a <sub>1</sub> )	358	758(§.)	42(§.)
-19	304	(195a <sub>2</sub> ~196a <sub>2</sub> )	359	759(§.)	43(§.)
-20	305	(196a <sub>2</sub> ~201b <sub>1</sub> )	151	832	165
-21	306	(201b <sub>1</sub> ~261b <sub>2</sub> )	142	823	156
-22	307	(261b <sub>2</sub> ~339a <sub>6</sub> )	T. 3636	5645	4144

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
92-23	308	(339a <sub>6</sub> ~355b <sub>6</sub> )	T. 3637	5646	4145
-24	309	(355b <sub>7</sub> ~360a <sub>7</sub> )	T. 3686	5695	4196
93-1	310	( 1b <sub>1</sub> ~128b <sub>8</sub> )	T. 3578	5587	4086
-2	311	(129a <sub>1</sub> ~186a <sub>2</sub> )	311	992	326
-3(註11)	312	(186a <sub>3</sub> ~199b <sub>1</sub> )	—	—	—
-4	313	(199b <sub>2</sub> ~305a <sub>1</sub> )	T. 3579	5588	4087
-5	314	(305a <sub>2</sub> ~314b <sub>5</sub> )	T. 3689	5698	4201
-6(註12)	315	(314b <sub>6</sub> ~342b <sub>4</sub> )	cf. T. 4380	cf. 1041(H)	cf. 4202
-7	316 cf. 32	(342b <sub>4</sub> ~346b <sub>8</sub> )	T. 3916	716(R.)	1095(R.)
-8	317	(347a <sub>1</sub> ~348b <sub>3</sub> )	—	717(R.)	1096(R.)
-9(註11)	318	(348b <sub>4</sub> ~353a <sub>6</sub> )	—	—	—
-10	319	(353a <sub>7</sub> ~354+55b <sub>8</sub> )	—	718(R.)	1097(R.)
-11	320	(354+55b <sub>8</sub> ~359b <sub>3</sub> )	270	951	285
-12	321	(359b <sub>4</sub> ~362a <sub>6</sub> )	271	952	286
-13(註11)	322	(362a <sub>6</sub> ~363a <sub>8</sub> )	—	—	—
-14(註11)	323	(363b <sub>1</sub> ~364a <sub>4</sub> )	—	—	—
-15	324	(364a <sub>5</sub> ~366a <sub>5</sub> )	732(R.)	440(R.)	817(R.)
-16	325=760 cf. 242	(366a <sub>6</sub> ~368b <sub>8</sub> )	~	~	~
-17(註11)	326	(368b <sub>8</sub> ~369a <sub>8</sub> )	—	—	—

## VI. Myan-hdas.

94-1~	327	( 1b <sub>1</sub> ~ <sup>o</sup> <sub>~292a<sub>5</sub></sub> )	361	787(M.)	119(M.)
96-1					

## VII. Rgyud.

97-1	328	( 1b <sub>1</sub> ~ 11a <sub>6</sub> )	363	3	361
-2	329	( 11a <sub>6</sub> ~141b <sub>2</sub> )	364	4	362
-3	330	(141b <sub>2</sub> ~159a <sub>6</sub> )	365	5	363
-4	331(1)	(159a <sub>6</sub> ~207b <sub>1</sub> )	367	8	366
-5	331(2)	(207b <sub>1</sub> ~230b <sub>3</sub> )	368	9	367
-6	332	(230b <sub>3</sub> ~273b <sub>2</sub> )	376	16	368
-7	333	(273b <sub>3</sub> ~419a <sub>8</sub> )	377	17	369
98-1	334	( 1b <sub>1</sub> ~141a <sub>4</sub> )	379	18	370
-2	335	(141a <sub>4</sub> ~280b <sub>3</sub> )	380	19	372
-3	336	(280b <sub>4</sub> ~328b <sub>8</sub> )	378	20	373
-4	337	(328b <sub>8</sub> ~364a <sub>2</sub> )	381	21	374
-5	338	(364a <sub>2</sub> ~376a <sub>7</sub> )	383	23	375
-6	339	(376a <sub>8</sub> ~385b <sub>2</sub> )	384	24	376
-7(註12)	340	(385b <sub>2</sub> ~393a <sub>9</sub> )	382	cf. 22 & 25	cf. 377 & 380
99-1	341	( 1b <sub>1</sub> ~ 99a <sub>7</sub> )	385	26	381
-2	342	( 99a <sub>8</sub> ~129a <sub>8</sub> )	386	27	382
-3	343	(129a <sub>8</sub> ~132a <sub>7</sub> )	—	28	383

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
99-4	344	(132a <sub>7</sub> ~142a <sub>7</sub> )	—	29	384
-5	345	(142a <sub>7</sub> ~146b <sub>1</sub> )	—	30	385
-6	346	(146b <sub>1</sub> ~149b <sub>2</sub> )	—	31	386
-7	347	(149b <sub>2</sub> ~151a <sub>7</sub> )	—	32	387
-8	348	(151a <sub>7</sub> ~157a <sub>6</sub> )	—	33	388
-9	349	(157a <sub>7</sub> ~163a <sub>8</sub> )	—	34	389
-10	350	(163a <sub>8</sub> ~166a <sub>5</sub> )	—	35	390
-11	351	(166a <sub>5</sub> ~169b <sub>3</sub> )	—	36	391
-12	352	(169b <sub>3</sub> ~171a <sub>4</sub> )	—	37	392
-13	353	(171a <sub>5</sub> ~172b <sub>7</sub> )	—	38	393
-14	354	(172b <sub>7</sub> ~174b <sub>2</sub> )	—	39	394
-15	355	(174b <sub>2</sub> ~176a <sub>2</sub> )	—	40	395
-16	356	(176a <sub>2</sub> ~179a <sub>8</sub> )	—	41	396
-17	357	(179a <sub>8</sub> ~181a <sub>4</sub> )	—	42	397
-18	358	(181a <sub>5</sub> ~182a <sub>8</sub> )	—	43	398
-19	359=368	(182a <sub>8</sub> ~184a <sub>7</sub> )	—	44	399
-20	360	(184a <sub>7</sub> ~186a <sub>6</sub> )	—	45	400
-21	361	(186a <sub>6</sub> ~188b <sub>5</sub> )	—	46	401
-22	362	(188b <sub>5</sub> ~191a <sub>4</sub> )	—	47	402
-23	363	(191a <sub>4</sub> ~193a <sub>5</sub> )	—	48	403
-24	364	(193a <sub>5</sub> ~194a <sub>8</sub> )	—	49	404
-25	365	(194a <sub>8</sub> ~198a <sub>1</sub> )	—	50	405
-26	366	(198a <sub>2</sub> ~199b <sub>8</sub> )	—	51	406
-27	367	(199b <sub>8</sub> ~201b <sub>1</sub> )	—	54	407
-28	368=359	(201b <sub>1</sub> ~203a <sub>7</sub> )	—	~	~
-29	369	(203a <sub>7</sub> ~204a <sub>7</sub> )	—	53	409
-30	370	(204a <sub>7</sub> ~206b <sub>3</sub> )	—	56	410
-31	371	(206b <sub>3</sub> ~208b <sub>6</sub> )	—	55	411
-32	372	(208b <sub>6</sub> ~212b <sub>2</sub> )	—	—	412
-33	373	(212b <sub>3</sub> ~218b <sub>1</sub> )	—	57	413
-34	374	(218b <sub>1</sub> ~221b <sub>2</sub> )	388	58	414
-35	375	(221b <sub>3</sub> ~223a <sub>7</sub> )	—	59	415
-36	376	(223a <sub>7</sub> ~257a <sub>5</sub> )	387	62	416
-37	377	(257a <sub>8</sub> ~271a <sub>8</sub> )	369	10	417
-38	378	(271a <sub>8</sub> ~291a <sub>4</sub> )	370		
-39	379	(291a <sub>4</sub> ~334b <sub>6</sub> )	371	11	419
-40	380	(334b <sub>6</sub> ~368a <sub>4</sub> )	372	12	420
-41	381	(368a <sub>4</sub> ~375a <sub>8</sub> )	373	13	421
100-1	382	( 1b <sub>1</sub> ~ 50a <sub>8</sub> )	374	14	422
-2	383	( 50b <sub>1</sub> ~ 57b <sub>4</sub> )	375	15	423
-3	384	( 57b <sub>4</sub> ~ 87b <sub>5</sub> )	389	63	424
-4	385	( 87b <sub>5</sub> ~ 91b <sub>1</sub> )	390	64	425
-5	386	( 91b <sub>1</sub> ~ 96[ hog] a <sub>8</sub> )	392	66	427

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
100-6	387	(96[ hog] a <sub>8</sub> ~101b <sub>7</sub> )	391	65	426
-7	388	(101b <sub>8</sub> ~163a <sub>6</sub> )	393	67	428
-8	389	(163a <sub>7</sub> ~194a <sub>8</sub> )	394	68	429
-9	390	(194a <sub>8</sub> ~240a <sub>2</sub> )	395	69	430
-10	391	(240a <sub>2</sub> ~289b <sub>2</sub> )	404	70	431
-11	392	(289b <sub>2</sub> ~310b <sub>7</sub> )	396	71	432
-12	393	(310b <sub>7</sub> ~312a <sub>8</sub> )	398	73	433
-13	394	(312b <sub>1</sub> ~314b <sub>8</sub> )	397	72	434
-14	395	(314b <sub>8</sub> ~325b <sub>6</sub> )	399	74	435
-15	396	(325b <sub>6</sub> ~328a <sub>7</sub> )	—	75	436
-16	397	(328a <sub>7</sub> ~343b <sub>8</sub> )	400	76	437
-17	398	(343b <sub>8</sub> ~345a <sub>8</sub> )	401	77	438
-18	399	(345b <sub>1</sub> ~347b <sub>4</sub> )	402	78	439
-19	400	(347b <sub>5</sub> ~393b <sub>6</sub> )	403	79	440
-20	401	(393b <sub>6</sub> ~397a <sub>8</sub> )	—	80	441
101-1	402(A)	( 1b <sub>1</sub> ~ 70b <sub>2</sub> )	405	81	442
-2	402(B)	( 70b <sub>2</sub> ~ 82a <sub>4</sub> )	406	81	443
-3	303	( 82a <sub>5</sub> ~145a <sub>5</sub> )	408	83	444
-4	404	(145a <sub>6</sub> ~225a <sub>8</sub> )	407	82	445
-5	405	(225b <sub>1</sub> ~230a <sub>5</sub> )	410	85	446
-6	406	(230a <sub>6</sub> ~235a <sub>1</sub> )	409	84	447
-7	407	(235a <sub>2</sub> ~259a <sub>1</sub> )	411	86	451
-8	408	(259a <sub>1</sub> ~305b <sub>8</sub> )	412	87	452
-9	409	(306a <sub>1</sub> ~307b <sub>7</sub> )	413	89	454
-10	410	(307b <sub>7</sub> ~312b <sub>4</sub> )	414	90	455
-11	411	(312b <sub>5</sub> ~317a <sub>4</sub> )	415	91	456
-12	412	(317a <sub>4</sub> ~320a <sub>7</sub> )	416	92	457
-13	413( 1 )	(320a <sub>8</sub> ~337a <sub>1</sub> )	417	93	458
-14	413( 2 )	(337a <sub>2</sub> ~344a <sub>7</sub> )	418	94	459
-15	413( 3 )	(344a <sub>8</sub> ~347b <sub>8</sub> )	419	95	460
-16	414	(348a <sub>1</sub> ~376b <sub>6</sub> )	421	97	461
-17	415	(376b <sub>7</sub> ~379a <sub>4</sub> )	422	100	462
-18	416	(379a <sub>5</sub> ~380b <sub>5</sub> )	—	98	463
-19	417	(380b <sub>5</sub> ~404b <sub>3</sub> )	—	99	464
-20	418	(404b <sub>4</sub> ~408a <sub>8</sub> )	—	101	465
102-1	419	( 1b <sub>1</sub> ~ 16b <sub>8</sub> )	362	2	360
-2	420	( 17a <sub>1</sub> ~ 66b <sub>2</sub> )	423	102	466
-3	421	( 66b <sub>3</sub> ~ 88a <sub>6</sub> )	424	103	467
-4	422	( 88a <sub>6</sub> ~102b <sub>5</sub> )	426	105	468
-5	423	(102b <sub>5</sub> ~105b <sub>2</sub> )	427	107( 1 )	469( 1 )
-6	424	(105b <sub>2</sub> ~106b <sub>2</sub> )		107( 3 )	469( 3 )
-7	425	(106b <sub>2</sub> ~107a <sub>3</sub> )		107( 2 )	469( 2 )
-8	426	(107a <sub>3</sub> ~107b <sub>4</sub> )	428	108	471

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
写本チベット大藏經調査備忘	102-9	427 (107b <sub>4</sub> ~120b <sub>4</sub> )	425	104	473
	-10	(120b <sub>4</sub> ~128a <sub>5</sub> )	761*	106	470
	-11	(128a <sub>5</sub> ~162b <sub>7</sub> )	429	109	474
	-12	(162b <sub>7</sub> ~200a <sub>8</sub> )	—	—	475
	-13	(200b <sub>1</sub> ~203b <sub>3</sub> )	430	110	476
	-14	(203b <sub>4</sub> ~271a <sub>3</sub> )	431	111	477
	-15	(271a <sub>3</sub> ~432a <sub>8</sub> )	432	112	479
	103-1	( 1b <sub>1</sub> ~153a <sub>3</sub> )	433	113	480
	-2	(153a <sub>4</sub> ~162b <sub>2</sub> )	434	114	481
	-3	(162b <sub>2</sub> ~217b <sub>3</sub> )	435	115	482
	-4	(217b <sub>3</sub> ~263a <sub>7</sub> )	441	116	483
	-5	(263a <sub>7</sub> ~325b <sub>6</sub> )	442	117	485
	-6	(325b <sub>6</sub> ~331a <sub>1</sub> )	436	118	486
	-7	(331a <sub>1</sub> ~331a <sub>8</sub> )	—	—	484
	104-1	( 1b <sub>1</sub> ~ 30a <sub>4</sub> )	437	119	487
	-2	( 30a <sub>4</sub> ~140a <sub>4</sub> )	438	120	488
	-3	(140a <sub>5</sub> ~148a <sub>7</sub> )	439	121	489
	-4	(148a <sub>7</sub> ~241b <sub>3</sub> )	443	123	490
	-5	(241b <sub>3</sub> ~336a <sub>7</sub> )	—	—	—
五 四	105-1	( 1b <sub>1</sub> ~ 4a <sub>5</sub> )	444	124	491
	-2	( 4a <sub>5</sub> ~ 46a <sub>4</sub> )	440	122	492
	-3	( 46a <sub>4</sub> ~ 84a <sub>8</sub> )	445	125	493
	-4	( 84a <sub>8</sub> ~182a <sub>7</sub> )	446	126	494
	-5	(182a <sub>7</sub> ~218b <sub>8</sub> )	—	—	—
	-6	(218b <sub>8</sub> ~296a <sub>9</sub> )	448	127	495
106-1	450	( 1b <sub>1</sub> ~191b <sub>7</sub> )	449	130	496
	-2	(191b <sub>7</sub> ~193b <sub>1</sub> )	507	196	497
	-3	(193b <sub>2</sub> ~204a <sub>7</sub> )	447	128	498
	-4	(204a <sub>7</sub> ~210b <sub>6</sub> )	763*	129	499
	-5	(210b <sub>6</sub> ~216a <sub>7</sub> )	450	131	500
	-6	(216a <sub>7</sub> ~217b <sub>4</sub> )	—	132	948
	-7	(217b <sub>5</sub> ~222b <sub>3</sub> )	—	133	501
	-8	(222b <sub>3</sub> ~252b <sub>8</sub> )	452	135	503
	-9	(253a <sub>1</sub> ~264a <sub>8</sub> )	453	136	504
	-10	(264a <sub>8</sub> ~267a <sub>6</sub> )	454	137	505
107-1	459	(267a <sub>6</sub> ~267a <sub>8</sub> )	—	269	505A
	-11	(267b <sub>1</sub> ~350a <sub>5</sub> )	451	134	502
	-12	(350a <sub>5</sub> ~379a <sub>7</sub> )	455	138	506
	-13	( 1b <sub>1</sub> ~ 10b <sub>5</sub> )	457	141	507
107-2	463	( 10b <sub>6</sub> ~ 11b <sub>4</sub> )	456	139	509
	-2	( 11b <sub>5</sub> ~ 15b <sub>7</sub> )	466	151	511
	-3	( 15b <sub>8</sub> ~ 20b <sub>6</sub> )	467	152	512
	-4	( 20b <sub>7</sub> ~ 22b <sub>5</sub> )	465	150	513

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
107-6	468	( 22b <sub>6</sub> ~ 25b <sub>2</sub> )	464	149	514
-7	469	( 25b <sub>7</sub> ~ 28a <sub>7</sub> )	576	316	516
-8	470	( 28a <sub>8</sub> ~ 32b <sub>7</sub> )	471	156	517
-9	471	( 32b <sub>8</sub> ~ 35a <sub>1</sub> )	554	293	518
-10	472	( 35a <sub>2</sub> ~ 37b <sub>6</sub> )	528	220	519
-11	473=86	( 37b <sub>7</sub> ~ 38b <sub>7</sub> )	529	221	520
-12	474	( 38b <sub>7</sub> ~ 40b <sub>2</sub> )	525	217	522
-13	475	( 40b <sub>2</sub> ~ 42a <sub>5</sub> )	567	307	523
-14	476	( 42a <sub>5</sub> ~ 42b <sub>4</sub> )	559	298	524
-15	477	( 42b <sub>4</sub> ~ 42b <sub>7</sub> )	560	299	709
-16	478	( 42b <sub>8</sub> ~ 54a <sub>6</sub> )	127	539	525
-17	479	( 54a <sub>7</sub> ~ 55a <sub>4</sub> )	572	312	526
-18	480	( 55a <sub>4</sub> ~ 72b <sub>6</sub> )	102	782	527
-19	481	( 72b <sub>6</sub> ~ 79a <sub>7</sub> )	506	195	528
-20	482	( 79a <sub>8</sub> ~ 82a <sub>6</sub> )	577	317	529
-21	483=22	( 82a <sub>6</sub> ~ 84a <sub>6</sub> )	474	159	530
-22	484=24	( 84a <sub>7</sub> ~ 85b <sub>4</sub> )	475	160	531
-23	485	( 85b <sub>5</sub> ~ 90b <sub>2</sub> )	476	161	532
-24	486	( 90b <sub>2</sub> ~ 90b <sub>4</sub> )	459	143	533
-25	487	( 90b <sub>4</sub> ~ 91a <sub>1</sub> )	460	144	534
-26	488=631	( 91a <sub>1</sub> ~ 91a <sub>4</sub> )	468	492	867
-27	489	( 91a <sub>4</sub> ~ 91a <sub>7</sub> )	469	493	535
-28	490	( 91a <sub>7</sub> ~ 91a <sub>8</sub> )	463	154(2)	536
-29	491	( 91a <sub>8</sub> ~ 91b <sub>2</sub> )	470	155	537
-30	492	( 91b <sub>2</sub> ~ 92a <sub>3</sub> )	547	285	538
-31	493	( 92a <sub>3</sub> ~ 92b <sub>1</sub> )	683	245	539
-32	494	( 92b <sub>1</sub> ~ 92b <sub>8</sub> )	610	352	540
-33	495	( 92b <sub>8</sub> ~ 93b <sub>4</sub> )	764*	396	541
-34	496	( 93b <sub>4</sub> ~ 96b <sub>8</sub> )	472	157	542
-35	497	( 97a <sub>1</sub> ~ 406a <sub>4</sub> )	477	162	543
-36	498	( 406a <sub>4</sub> ~ 420a <sub>3</sub> )	478	163	544
-37	499	( 420a <sub>3</sub> ~ 420b <sub>2</sub> )	481	166	545
-38	500	( 420b <sub>3</sub> ~ 421a <sub>6</sub> )	482	167	546
-39	501	( 421a <sub>6</sub> ~ 421b <sub>2</sub> )	485	168	547
-40	502	( 421b <sub>3</sub> ~ 421b <sub>4</sub> )	483	169	548
-41	503	( 421b <sub>5</sub> ~ 422a <sub>3</sub> )	484	170	549
-42	504	( 422a <sub>3</sub> ~ 422b <sub>1</sub> )	486	171	550
-43	505	( 422b <sub>1</sub> ~ 424a <sub>7</sub> )	588	329	642
108-1	506=18	( 1b <sub>1</sub> ~ 5a <sub>3</sub> )	487	172	553
-2	507=21	( 5a <sub>3</sub> ~ 7a <sub>5</sub> )	488	173	554
-3	508=241	( 7a <sub>5</sub> ~ 174a <sub>2</sub> )	489	174	555
-4	509=240	( 174a <sub>2</sub> ~ 319b <sub>8</sub> )	490	175	556
-5	510=285	( 319b <sub>8</sub> ~ 394a <sub>7</sub> )	762*	176	557

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
108-6	511	(394a <sub>7</sub> ~425a <sub>8</sub> )	491	177	558
-7	512	(425b <sub>1</sub> ~463b <sub>7</sub> )	492	178	559
-8	513	(463b <sub>7</sub> ~464a <sub>7</sub> )	505	194	560
-9	514	(464a <sub>7</sub> ~489b <sub>3</sub> )	493	179	561
-10	515	(489b <sub>4</sub> ~503a <sub>6</sub> )	494	180	562
-11	516	(503a <sub>6</sub> ~510a <sub>9</sub> )	495	181	563
109-1	517-243	( 1b <sub>1</sub> ~125b <sub>3</sub> )	~	~	~
-2	518	(125b <sub>3</sub> ~126b <sub>8</sub> )	496	182	564
-3	519	(126b <sub>8</sub> ~136b <sub>2</sub> )	—	183	565
-4	520	(136b <sub>2</sub> ~162b <sub>7</sub> )	—	184	566
-5	521	(162b <sub>8</sub> ~170b <sub>3</sub> )	765*	192	567
-6	522	(170b <sub>3</sub> ~175b <sub>3</sub> )	504	193	568
-7	523	(175b <sub>4</sub> ~177b <sub>2</sub> )	562	301	569
-8	524	(177b <sub>2</sub> ~179b <sub>6</sub> )	502	190	570
-9	525	(179b <sub>7</sub> ~180b <sub>8</sub> )	501	189	571
-10	526	(180b <sub>8</sub> ~182a <sub>3</sub> )	—	383	572
-11	527	(182a <sub>3</sub> ~182b <sub>2</sub> )	549	287	573
-12	528	(182b <sub>3</sub> ~184b <sub>8</sub> )	553	292	574
-13	529	(184b <sub>8</sub> ~185b <sub>8</sub> )	573	313	575
-14	530	(185b <sub>8</sub> ~186a <sub>4</sub> )	707	272	577
-15	531	(186a <sub>4</sub> ~186b <sub>1</sub> )	706	271	576
-16	532	(186b <sub>1</sub> ~186b <sub>4</sub> )	708	273	578
-17	533	(186b <sub>4</sub> ~187a <sub>1</sub> )	709	274	579
-18	534	(187a <sub>1</sub> ~187b <sub>1</sub> )	710	275	580
-19	535	(187b <sub>1</sub> ~187b <sub>2</sub> )	711	267	581
-20	536	(187b <sub>2</sub> ~187b <sub>6</sub> )	712	277	582
-21	537	(187b <sub>6</sub> ~188a <sub>1</sub> )	713	278	583
-22	538	(188a <sub>1</sub> ~188a <sub>3</sub> )	714	279	584
-23	539	(188a <sub>3</sub> ~188a <sub>6</sub> )	715	280	585
-24	540	(188a <sub>6</sub> ~188a <sub>8</sub> )	716	281	586
-25	541	(188a <sub>8</sub> ~188b <sub>2</sub> )	718	283	588
-26	542	(188b <sub>2</sub> ~189a <sub>3</sub> )	719	284	589
-27	543	(189a <sub>3</sub> ~195a <sub>7</sub> )	508	197	595
-28	544	(195a <sub>7</sub> ~201a <sub>5</sub> )	509	198	597
五六	545	(201a <sub>5</sub> ~211a <sub>6</sub> )	510	199	594
-30	546	(211a <sub>7</sub> ~214a <sub>4</sub> )	511	200	598
-31	547	(214a <sub>4</sub> ~215b <sub>3</sub> )	512	201	596
-32	548 cf. 549	(215b <sub>3</sub> ~225b <sub>7</sub> )	513	202	590
-33	549 cf. 548	(225b <sub>7</sub> ~233a <sub>7</sub> )	514	203	591
-34	550	(233a <sub>7</sub> ~239a <sub>6</sub> )	—	204	592
-35	551	(239a <sub>6</sub> ~245b <sub>8</sub> )	515, 766*	205	593
-36	552	(246a <sub>1</sub> ~258a <sub>8</sub> )	516	206	599
-37	553	(258a <sub>8</sub> ~266b <sub>2</sub> )	527	219	601

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
109-38	554	(266b <sub>2</sub> ~267a <sub>4</sub> )	767*	140	602
-39	555	(267a <sub>4</sub> ~280b <sub>1</sub> )	526	218	510
-40	556	(280b <sub>1</sub> ~283a <sub>2</sub> )	575	315	603
-41	557	(283a <sub>2</sub> ~350b <sub>2</sub> )	552	291	604
-42	558	(350b <sub>2</sub> ~351b <sub>7</sub> )	768*	418	605
-43	559	(351b <sub>7</sub> ~354b <sub>3</sub> )	568	308	606
-44	560	(354b <sub>3</sub> ~356·57b <sub>3</sub> )	557	296	607
-45	561	(356·57b <sub>4</sub> ~358b <sub>8</sub> )	780*	303	608
-46	562	(358b <sub>8</sub> ~360b <sub>3</sub> )	558	300	609
-47	563	(360b <sub>4</sub> ~363a <sub>5</sub> )	565	305	610
-48	564	(363a <sub>6</sub> ~363b <sub>4</sub> )	571	311	611
-49	565	(363b <sub>4</sub> ~365b <sub>1</sub> )	566	306	612
-50	566	(365b <sub>1</sub> ~366b <sub>1</sub> )	500	188	613
-51	567	(366b <sub>1</sub> ~373a <sub>3</sub> )	569	309	614
-52	568	(373a <sub>3</sub> ~373b <sub>6</sub> )	523	215	615
-53	569	(373b <sub>7</sub> ~378b <sub>3</sub> )	609	351	616
-54	570	(378b <sub>3</sub> ~381b <sub>5</sub> )	298	599	617
-55	571	(381b <sub>5</sub> ~382·83b <sub>3</sub> )	556	295	618
-56	572	(382·83b <sub>3</sub> ~385a <sub>8</sub> )	563	302	619
-57	573	(385b <sub>1</sub> ~385b <sub>8</sub> )	520	211	620
-58	574-750	(385b <sub>8</sub> ~386a <sub>2</sub> )	~	683	1058
-59	575	(386a <sub>2</sub> ~387·88a <sub>6</sub> )	521	213	621
-60	576	(387·88a <sub>7</sub> ~389a <sub>2</sub> )	517	207	622
-61	577	(389a <sub>3</sub> ~389a <sub>5</sub> )	518	210	624
-62	578	(389a <sub>5</sub> ~390a <sub>3</sub> )	519	209	625
-63	579	(390a <sub>3</sub> ~390a <sub>5</sub> )	769*	212	626
-64	580	(390a <sub>6</sub> ~390a <sub>7</sub> )	770*	289	627
110-1	581	( 1b <sub>1</sub> ~ 7b <sub>6</sub> )	458	142	628
-2	582	( 7b <sub>6</sub> ~ 8b <sub>3</sub> )	522	214	629
-3	583	( 8b <sub>3</sub> ~ 9a <sub>3</sub> )	564	304	630
-4	584	( 9a <sub>4</sub> ~ 25a <sub>5</sub> )	578	318	631
-5	585	( 25a <sub>5</sub> ~ 51b <sub>8</sub> )	579	319	632
-6	586	( 51b <sub>8</sub> ~ 54b <sub>1</sub> )	574	314	633
-7	587	( 54b <sub>1</sub> ~ 57a <sub>6</sub> )	580	320	634
-8	588	( 57a <sub>6</sub> ~ 59a <sub>6</sub> )	581	321	635
-9	589	( 59a <sub>6</sub> ~ 62b <sub>3</sub> )	582	322	636
-10	590	( 62b <sub>3</sub> ~ 67a <sub>1</sub> )	583	323	637
-11	591	( 67a <sub>2</sub> ~ 70a <sub>2</sub> )	584	324	638
-12	592	( 70a <sub>2</sub> ~ 73b <sub>5</sub> )	585	325	639
-13	593	( 73b <sub>5</sub> ~ 76a <sub>4</sub> )	586	326	640
-14	594	( 76a <sub>4</sub> ~ 78b <sub>1</sub> )	587	327	641
-15	595	( 78b <sub>1</sub> ~ 79a <sub>3</sub> )	589	330	643
-16	596	( 79a <sub>3</sub> ~ 80a <sub>6</sub> )	473	158	644

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
110-17	597	( 80a <sub>6</sub> ~ 81a <sub>7</sub> )	—	354	645
-18	598	( 81a <sub>7</sub> ~ 84b <sub>2</sub> )	613	356	646
-19	599	( 84b <sub>2</sub> ~ 86b <sub>4</sub> )	612	355	647
-20	600	( 86b <sub>5</sub> ~ 87a <sub>2</sub> )	611	353	649
-21	601	( 87a <sub>2</sub> ~ 87b <sub>2</sub> )	771*	233	718
-22	602	( 87b <sub>2</sub> ~ 87b <sub>5</sub> )	772*	231	720
-23	603	( 87b <sub>5</sub> ~ 88a <sub>2</sub> )	461	145	652
-24	604	( 88a <sub>2</sub> ~ 98b <sub>6</sub> )	—	332	653
-25	605	( 98b <sub>6</sub> ~102b <sub>1</sub> )	570	310	654
-26	606	(102b <sub>1</sub> ~103a <sub>1</sub> )	666	421	655
-27	607	(103a <sub>2</sub> ~120b <sub>3</sub> )	591	333	656
-28	608	(120b <sub>3</sub> ~137b <sub>1</sub> )	592	334	657
-29	609	(137b <sub>1</sub> ~142b <sub>6</sub> )	593	335	658
-30	610	(142b <sub>6</sub> ~143a <sub>8</sub> )	594	336	659
-31	611 cf. 612	(143a <sub>8</sub> ~146a <sub>5</sub> )	598	340	661
-32	612 cf. 611	(146a <sub>6</sub> ~149a <sub>1</sub> )	597	339	660
-33	613	(149a <sub>1</sub> ~153a <sub>7</sub> )	599	341	662
-34	614	(153a <sub>7</sub> ~154b <sub>1</sub> )	600	342	663
-35	615	(154b <sub>1</sub> ~156a <sub>7</sub> )	601	343	664
-36	616	(156a <sub>7</sub> ~157a <sub>4</sub> )	596	338	665
-37	617	(157a <sub>4</sub> ~163b <sub>6</sub> )	595	337	666
-38	618	(163b <sub>6</sub> ~166a <sub>7</sub> )	602	344	667
-39	619	(166a <sub>7</sub> ~166b <sub>8</sub> )	603	345	668
-40	620	(166b <sub>8</sub> ~167a <sub>6</sub> )	605	347	669
-41	621	(167a <sub>6</sub> ~167b <sub>5</sub> )	604	346	670
-42	622	(167b <sub>5</sub> ~175b <sub>2</sub> )	606	348	671
-43	623	(175b <sub>2</sub> ~177a <sub>6</sub> )	607	349	672
-44	624	(177a <sub>6</sub> ~177a <sub>8</sub> )	608	350	673
-45	625	(177a <sub>8</sub> ~177b <sub>5</sub> )	—	359	—
-46	626	(177b <sub>5</sub> ~177b <sub>6</sub> )	—	360	673A
-47	627	(177b <sub>6</sub> ~183b <sub>5</sub> )	615	361	674
-48	628	(183b <sub>5</sub> ~189a <sub>2</sub> )	616	362	675
-49	629	(189a <sub>2</sub> ~191a <sub>5</sub> )	617	363	676
-50	630	(191a <sub>6</sub> ~191b <sub>3</sub> )	773*	153	677
-51	631=488	(191b <sub>3</sub> ~191b <sub>6</sub> )	—	154(1)	678
-52	632	(191b <sub>7</sub> ~255a <sub>3</sub> )	618	364	681
-53	633	(255a <sub>3</sub> ~261b <sub>1</sub> )	644	366	682
-54	634	(261b <sub>1</sub> ~264a <sub>1</sub> )	—	—	683
-55	635	(264a <sub>1</sub> ~266a <sub>3</sub> )	619	367	687
-56	636 cf. 642	(266a <sub>3</sub> ~269a <sub>3</sub> )	—	527	688
-57	637	(269a <sub>3</sub> ~273b <sub>2</sub> )	—	—	689
-58	638	(273b <sub>2</sub> ~275b <sub>8</sub> )	623	373	693
-59	639	(275b <sub>8</sub> ~285a <sub>4</sub> )	—	374	694

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
110-60	640	(285a <sub>4</sub> ~318a <sub>5</sub> )	—	—	690
-61	641 cf. 649	(318a <sub>5</sub> ~359a <sub>7</sub> )	621	369	691
111-1	642 cf. 636	( 1b <sub>1</sub> ~480a <sub>8</sub> )	651	365	686
112-1	643	( 1b <sub>1</sub> ~ 13a <sub>5</sub> )	622	370	692
-2	644	( 13a <sub>5</sub> ~ 13b <sub>6</sub> )	625	371	696
-3	645	( 13b <sub>6</sub> ~ 14a <sub>1</sub> )	624	372	695
-4	646	( 14a <sub>1</sub> ~ 23a <sub>1</sub> )	626	375	701
-5	647	( 23a <sub>1</sub> ~ 29a <sub>8</sub> )	627	376	700
-6	648	( 29b <sub>1</sub> ~ 32a <sub>7</sub> )	628	377	699
-7	649 cf. 641	( 32a <sub>8</sub> ~ 34a <sub>8</sub> )	—	378	697
-8	650	( 34a <sub>3</sub> ~ 35a <sub>2</sub> )	636	388	698
-9	651	( 35a <sub>2</sub> ~ 36a <sub>8</sub> )	633	385	702
-10	652	( 36b <sub>1</sub> ~ 43b <sub>1</sub> )	634	386	703
-11	653	( 43b <sub>1</sub> ~ 43b <sub>6</sub> )	635	387	704
-12	654	( 43b <sub>6</sub> ~ 46a <sub>2</sub> )	630	381	705
-13	655	( 46a <sub>3</sub> ~ 48a <sub>5</sub> )	774*	328	706
-14	656	( 48a <sub>6</sub> ~ 50a <sub>5</sub> )	632	384	707
-15	657	( 50a <sub>5</sub> ~ 52a <sub>2</sub> )	561	297	708
-16	658	( 52a <sub>2</sub> ~ 52b <sub>2</sub> )	524	216	710
-17	659	( 52b <sub>2</sub> ~ 52b <sub>5</sub> )	540	235	711
-18	660	( 52b <sub>6</sub> ~ 52b <sub>8</sub> )	541	236	712
-19	661	( 52b <sub>8</sub> ~ 53a <sub>4</sub> )	542	237	713
-20	662	( 53a <sub>4</sub> ~ 53a <sub>8</sub> )	543	238	714
-21	663	( 53a <sub>8</sub> ~ 53b <sub>3</sub> )	544	239	715
-22	664	( 53b <sub>3</sub> ~ 53b <sub>5</sub> )	546	241	717
-23	665	( 53b <sub>5</sub> ~ 54a <sub>1</sub> )	—	233	719
-24	666	( 54a <sub>1</sub> ~ 54a <sub>4</sub> )	539	234	650
-25	667	( 54a <sub>4</sub> ~ 54a <sub>6</sub> )	538	230	651
-26	668=156	( 54a <sub>6</sub> ~ 78b <sub>7</sub> )	~	~	721
-27	669	( 78b <sub>8</sub> ~ 81a <sub>3</sub> )	727	435	722
-28(註11)	670	( 81a <sub>4</sub> ~ 84a <sub>2</sub> )	—	—	—
-29	671	( 84a <sub>2</sub> ~ 88a <sub>3</sub> )	—	380	723
-30	672	( 88a <sub>3</sub> ~ 89b <sub>8</sub> )	637	389	725
-31	673	( 90a <sub>1</sub> ~108a <sub>8</sub> )	638	390	726
-32	674	(108a <sub>8</sub> ~111a <sub>8</sub> )	639	391	727
-33	675	(111a <sub>4</sub> ~114b <sub>5</sub> )	640	392	728
-34(註11)	676	(114b <sub>5</sub> ~115b <sub>2</sub> )	—	—	—
-35	677	(115b <sub>2</sub> ~115b <sub>4</sub> )	642	393	729
-36	678	(115b <sub>4</sub> ~116a <sub>3</sub> )	643	394	730
-37	679	(116a <sub>3</sub> ~116b <sub>7</sub> )	503	191	732
-38	680	(116b <sub>8</sub> ~498a <sub>8</sub> )	671	469	724
113-1	681=274	( 1b <sub>1</sub> ~ 66b <sub>1</sub> )	~	~	~
-2	682	( 66b <sub>1</sub> ~ 67b <sub>1</sub> )	629	379	733

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
113-3	683	( 67b <sub>1</sub> ~ 69a <sub>7</sub> )	555	294	734
-4	684	( 69a <sub>8</sub> ~ 70b <sub>4</sub> )	497	185	735
-5	685	( 70b <sub>4</sub> ~ 71b <sub>2</sub> )	498	186	736
-6	686	( 71b <sub>2</sub> ~ 72a <sub>4</sub> )	550	288	737
-7	687	( 72a <sub>4</sub> ~ 72b <sub>2</sub> )	—	270	742
-8	688	( 72b <sub>3</sub> ~ 73b <sub>1</sub> )	645	397	738
-9	689	( 73b <sub>1</sub> ~ 78b <sub>3</sub> )	646	398	739
-10	690	( 78b <sub>3</sub> ~ 79b <sub>1</sub> )	647	399	740
-11	691	( 79b <sub>1</sub> ~ 80a <sub>5</sub> )	648	400	741
-12	692	( 80a <sub>5</sub> ~ 81a <sub>7</sub> )	652	401	743
-13	693	( 81a <sub>7</sub> ~ 374a <sub>8</sub> )	653	402	746
114-1	694	( 1b <sub>1</sub> ~ 39a <sub>6</sub> )	649	403	744
-2	695	( 39a <sub>6</sub> ~ 71b <sub>5</sub> )	650	404	747
-3	696=455	( 71b <sub>5</sub> ~ 73a <sub>4</sub> )	775*	573	748
-4	697	( 73a <sub>4</sub> ~ 73a <sub>6</sub> )	420	577	952
-5	698	( 73a <sub>6</sub> ~ 74b <sub>6</sub> )	654	405	749
-6	699	( 74b <sub>6</sub> ~ 76b <sub>2</sub> )	655	406	750
-7	700	( 76b <sub>3</sub> ~ 114a <sub>2</sub> )	656	407	751
-8	701	( 114a <sub>3</sub> ~ 118a <sub>1</sub> )	657	408	752
-9	702	( 118a <sub>1</sub> ~ 118b <sub>7</sub> )	—	409	753
-10	703	( 118b <sub>8</sub> ~ 120a <sub>1</sub> )	658	410	754
-11	704	( 120a <sub>1</sub> ~ 121b <sub>7</sub> )	664	419	755
-12	705	( 121b <sub>7</sub> ~ 122b <sub>5</sub> )	—	420	756
-13	706	( 122b <sub>5</sub> ~ 136a <sub>4</sub> )	665	416	757
-14	707	( 136a <sub>5</sub> ~ 146b <sub>6</sub> )	499	187	758
-15	708	( 146b <sub>7</sub> ~ 174b <sub>3</sub> )	659	411	759
-16	709	( 174b <sub>3</sub> ~ 176b <sub>7</sub> )	660	412	760
-17	710	( 176b <sub>7</sub> ~ 178a <sub>8</sub> )	662	413	761
-18	711	( 178b <sub>1</sub> ~ 179a <sub>7</sub> )	663	414	762
-19	712	( 179a <sub>8</sub> ~ 181b <sub>4</sub> )	661	415	763
-20	713 cf. 718	( 181b <sub>4</sub> ~ 182a <sub>8</sub> )	672	422	764
-21	714	( 182b <sub>1</sub> ~ 198a <sub>2</sub> )	673	423	765
-22	715	( 198a <sub>2</sub> ~ 213b <sub>7</sub> )	667	cf. 424	766
-23	716	( 213b <sub>7</sub> ~ 222b <sub>2</sub> )	668	—	767
-24	717	( 222b <sub>2</sub> ~ 223b <sub>5</sub> )	669	425	768
-25	718 cf. 713	( 223b <sub>5</sub> ~ 224a <sub>7</sub> )	631	382	769
-26	719	( 224a <sub>7</sub> ~ 241b <sub>2</sub> )	670	426	770
-27	720	( 241b <sub>2</sub> ~ 243b <sub>6</sub> )	590	331	771
-28	721	( 243b <sub>7</sub> ~ 250a <sub>7</sub> )	674	427	907
-29	722	( 250a <sub>7</sub> ~ 251a <sub>6</sub> )	551	290	773
-30	723	( 251a <sub>6</sub> ~ 251a <sub>7</sub> )	531	223	774
-31	724=460	( 251a <sub>8</sub> ~ 251b <sub>1</sub> )	533	225	1059A
-32	725	( 251b <sub>2</sub> ~ 251b <sub>4</sub> )	534	226	775

M. (Vol.)	(No.)	(folios)	N.	P.	D.
114-33	726	(251b <sub>4</sub> ~251b <sub>8</sub> )	535	227	776
-34	727	(251b <sub>8</sub> ~252a <sub>7</sub> )	536	228	777
-35	728	(252a <sub>7</sub> ~252b <sub>1</sub> )	537	229	778
-36	729	(252b <sub>1</sub> ~252b <sub>4</sub> )	680	242	779
-37	730	(252b <sub>5</sub> ~252b <sub>7</sub> )	681	243	780
-38	731	(252b <sub>8</sub> ~253a <sub>2</sub> )	685	247	783
-39	732	(253a <sub>2</sub> ~253a <sub>4</sub> )	686	248	784
-40	733	(253a <sub>4</sub> ~253a <sub>7</sub> )	687	249	785
-41	734	(253a <sub>7</sub> ~253b <sub>1</sub> )	688	250	786
-42	735	(253b <sub>2</sub> ~253b <sub>3</sub> )	689	251	787
-43	736	(253b <sub>3</sub> ~253b <sub>5</sub> )	690	252	788
-44	737	(253b <sub>5</sub> ~253b <sub>8</sub> )	691	253	789
-45	738	(254a <sub>1</sub> ~254a <sub>2</sub> )	692	254	790
-46	739	(254a <sub>2</sub> ~254a <sub>4</sub> )	693	255	791
-47	740	(254a <sub>5</sub> ~254a <sub>7</sub> )	694	256	792
-48	741	(254a <sub>7</sub> ~254b <sub>2</sub> )	695	257	793
-49	742	(254b <sub>2</sub> ~254b <sub>7</sub> )	696	258	794
-50	743	(254b <sub>7</sub> ~255a <sub>2</sub> )	697	259	795
-51	744	(255a <sub>2</sub> ~255a <sub>3</sub> )	698	260	796
-52	745	(255a <sub>3</sub> ~255a <sub>6</sub> )	699	261	797
-53	746	(255a <sub>6</sub> ~255a <sub>8</sub> )	700	262	798
-54	747	(255a <sub>8</sub> ~255b <sub>2</sub> )	701	263	799
-55	748	(255b <sub>2</sub> ~255b <sub>3</sub> )	702	264	800
-56	749	(255b <sub>3</sub> ~255b <sub>5</sub> )	703	265	801
-57	750=574	(255b <sub>6</sub> ~255b <sub>7</sub> )	704	266	802
-58	751	(255b <sub>7</sub> ~256a <sub>2</sub> )	705	267	803
-59	752	(256a <sub>2</sub> ~256a <sub>6</sub> )	—	358	804
-60	753	(256a <sub>6</sub> ~290a <sub>3</sub> )	721	429	806
-61	754	(290a <sub>3</sub> ~293b <sub>5</sub> )	722	430	808
-62	755	(293b <sub>5</sub> ~363b <sub>1</sub> )	723	431	807
-63	756	(363b <sub>1</sub> ~394b <sub>3</sub> )	720	428	805
-64	757	(394b <sub>3</sub> ~421[goñ]b <sub>8</sub> )	725	433	810
-65	758	(421[hog]a <sub>1</sub> ~425b <sub>3</sub> )	—	432	809
-66	759	(425b <sub>4</sub> ~430a <sub>5</sub> )	724	908(M.)	242(M.)
-67	760=325 cf. 242	(430a <sub>6</sub> ~430b <sub>6</sub> )	737	445	822
-68	761	(430b <sub>6</sub> ~431a <sub>7</sub> )	742	450	827

## 註

(1) 従来 **त्रिपुरा द्वारा** の **धृष्णु-र्षी-क्षेत्र** 寺と言われているが、**धृष्णु-र्षी-क्षेत्र** が正しい。

SOR. XVI; A. Ferrari, Mk'yen Brtse's guide to the holy places of central Tibet, p. 59 参照。

(2) 河口正著、河口慧海。春秋社 1961, pp. 135~152, 222~223。

- (3) 畏友金子良太氏の示教による。なお、これらの文の歴史的考察は同氏により近く発表されるとのことである。
- (4) 笠松単伝、チベット大藏經について、佛教研究5巻3・4号152頁。尚ナルタン古版に関しては、羽田野伯猷 チベット大藏經縁起(その一) 鈴木學術財團研究年報3号、1966。
- (5) 羽田野伯猷 チベット大藏經縁起(その二) 鈴木學術財團研究年報8号、1971。
- (6) ラサ版は未見であるが、高崎直道 ラサ版大藏經について(日本西藏学会々報6号、昭和35年)及び同氏編 東京大学所蔵ラサ版チベット大藏經目録(昭和40年11月 東京大学文学部印度哲学印度文学研究室刊)。
- (7) ~~クン・ム~~等を一經と見るのは故多田等觀先生の御示教による。尚、金子良太氏の東洋学報42巻3号所収論文参照。
- (8) 故多田等觀先生の御示教によれば、1巻は400~500 ślokaより成る。ただし、後世には300 ślokaを以って1巻とするようになったとの事である。とすれば、分巻の相違は時代の差とも関連して来ることになる。
- (9) 2-d 参照。(10) 2-e 参照。(11) 2-g-i 参照。(12) 3-b-V 参照。
- (13) この推論は現地調査をすれば一層明確になる。ところで昭和29年7月29日付読売新聞夕刊は、A F P電として、ギャンツェが7月25日夜堤防の決壊による水害で押し流され死者1800名に達する模様と報じている。しかし、その後来る日のチベット人からの情報ではパンゴルチヨエデー寺は高所にあって水害を受けなかったとの事であるので、革命の混乱に佚失しなければ、未だ現地調査の資料は残存しているものと思われる。

この調査は壬生台舜教授のすすめで始めたものである。先生は終始チベット学に不案内のわたくしを導き多くの助言を賜った。また、故多田等觀教授と畏友金子良太学兄は膨大な資料を読み破して調査に指針を与えて下さった。更に恩師松濤誠廉先生は梵文写本との関連で貴重な資料と助言を賜った。日本チベット学会での発表に司会していただいた長尾雅人教授からも貴重な助言と励ましをいただいた。

また、今年大正大学梵文学研究室副手高橋尚夫氏が真言宗豊山派の助成で河口師将来のチヨーネ版より作成した写植用のチベット文字原板を、所有者の豊山教学研修所は好意的に初使用させて下さった。さらに大正大学梵文学研究室助手長島尚道氏、副手高橋尚夫氏、同国文学研究室助手清水宥聖氏から校正に当たり多大の協力をいただいた。

出版部長山田昭全教授はこの小論の発表の為に多大の時間と経済上の浪費を敢えて与えて下さいました。

わたくしの怠惰からの長い冬眠の間、この調査にまだまだ多くの方々から貴重な助言と励ましをいただいて來た。ここに不完全なまま備忘と題して報告するに際し、記して陳謝と感謝の意を表する。

# MEMOIRS OF TAISHO UNIVERSITY

## (TAISHO DAIGAKU KENKYUKIYO)

The Departments of Buddhism and Literature

No. 63 September 1977

### CONTENTS

---

Choten Takeda;	
The Acceptance of the Buddhist Scriptures in the Ancient Japan .....	( 1 )
Ryusho Ominami;	
The Origin and its Development of the "Buddha dar'sana Thought" ...	( 25 )
Kobun Tada;	
Nan-San-Pei-Ch'i (南三北七) in T'ien-t'ai Evaluation Doctrine.....	( 41 )
—Especially in Fa-hua-hsüan-i (法華玄義)—	
Kicho Onozuka;	
Kōbō Daishi's Theory in <i>Dainichikyo-kaidai</i> (大日經開題) .....	( 53 )
Bunsei Agawa;	
On Hōnen-Shonin's Doctrine of Practice .....	( 69 )
Jiro Imaeda;	
On the Four Lost Ancient Essays at the Beginning of the Silk Manuscripts (Text B) of <i>Laotzu</i> Found in the Han Tomb at Ma- wang-tiu .....	( 85 )
Tadashi Saito;	
On the Development of the Second Burial in Japan .....	( 99 )
Ryosho Hayashi;	
On the System of Head and Branch Temple in the Early Edo Era.....	( 135 )
Toshio Sugizaki;	
A Note on Ryosen Tsunashima.....	( 153 )
Tsutomu Nozaka;	
Considerations on the Components of the Aid-Services for the Aged.....	( 167 )
Teruo Chinzei;	
On the relation of Power and Morality.....	( 179 )

- Yoshiaki Udaka;  
Changes of Curriculum in the Modern Educational Facilities.....(203)  
—Especially of History, Geography and Moral Course—
- Shodo Nagashima;  
Classified List of Theses and Papers related to “Jishū” ..... .... (290)
- Norichika Fukuda;  
An experimental study of thirst drive ..... .....(300)  
—reconsideration to conventional learning theories—
- Hiroshi Tsujimura, Fumitake Inoue, Hidenori Yokoyama, Kaichi  
Hamada, Yoshito Hiraizumi;  
Studies on the physical Fitness of Students in Taisho University.....(312)
- Eiichi Uchida;  
Les soutiens du Contrat social selon Rousseau ..... .....(328)
- Yoshimi Anzai;  
On the view of Walt Whitman's Life and Death ..... .....(336)
- Kodo Yahagi;  
Eastern Literature versus Western Literature.....(344)  
—Matuso Basho (松尾芭蕉) against William Wordsworth—
- Kojun Saito;  
A Study of the Hand-written Copy of Tibetan Kanjur from rGyal-rtse...(406)

昭和五十二年度図書委員会

出版部役員

昭和五十二年九月十五日 印刷  
昭和五十二年九月三十日 発行

大正大学研究紀要 第六十三輯

学長 出版部長 委員長 副委員長 員

編集事務

清村松宇 榊佐松佐山山斎竹今中阿勝塩竹塩金山中  
水上濤高 藤村藤村田藤中枝田川又入田入田田村  
宥正誠良泰良安行 昭信二 文俊良暢亮惠昭康  
聖二達哲純純一信健全忠常郎勉正教道典達光全隆

発行所

大正大学出版部

電話(918) 732-1番(代表)

東京都豊島区西巣鴨三丁目110番1号

発行人 中村康隆  
編集人 山田昭全  
印刷人 羽馬清次  
印刷所 東京都板橋区板橋二丁目六四番地  
三協美術印刷株式会社  
印刷所 東京都千代田区神田錦町三丁目六番地

No. 63

September 1977

**TAISHO DAIGAKU KENKYUKIYO**  
**MEMOIRS**  
**OF**  
**TAISHO UNIVERSITY**

The Departments of Buddhism and Literature

Published  
by  
The Taisho University Press  
Tokyo.

# 大正大學研究紀要

佛教學部・文學部

63

大正大學出版部

1 9 7 7